

第3回 鶴岡市文化会館管理運営計画検討委員会

日時：平成25年4月25日（木）

午前9時30分～

場所：アートフォーラム大会議室

次 第

～ 委嘱状の交付 ～

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

4 アドバイザー講話

「他館における各種事業の取組事例について」

5 協 議

(1) 基本理念や基本方針について（まとめ）

(2) 自主事業と貸館事業について

(3) その他

6 閉 会

報告事項

(1) 先進地視察について

○由利本荘市文化交流館「カダーレ」の視察について

- ・視察日 … 平成25年3月25日(月)
- ・視察先 … 秋田県由利本荘市文化交流館「カダーレ」
- ・参加者 … 検討委員5名、事務局職員、設計者
- ・視察目的 … 直営施設ではあるが、現在の管理運営体制と課題、管理運営への市民の関わり、開館記念事業、自主事業・管理運営経費などについて先進事例を把握し、また最新鋭の設備が整った施設を見学することで、今後の検討委員会を進めるにあたっての参考とする。

○今後の予定について

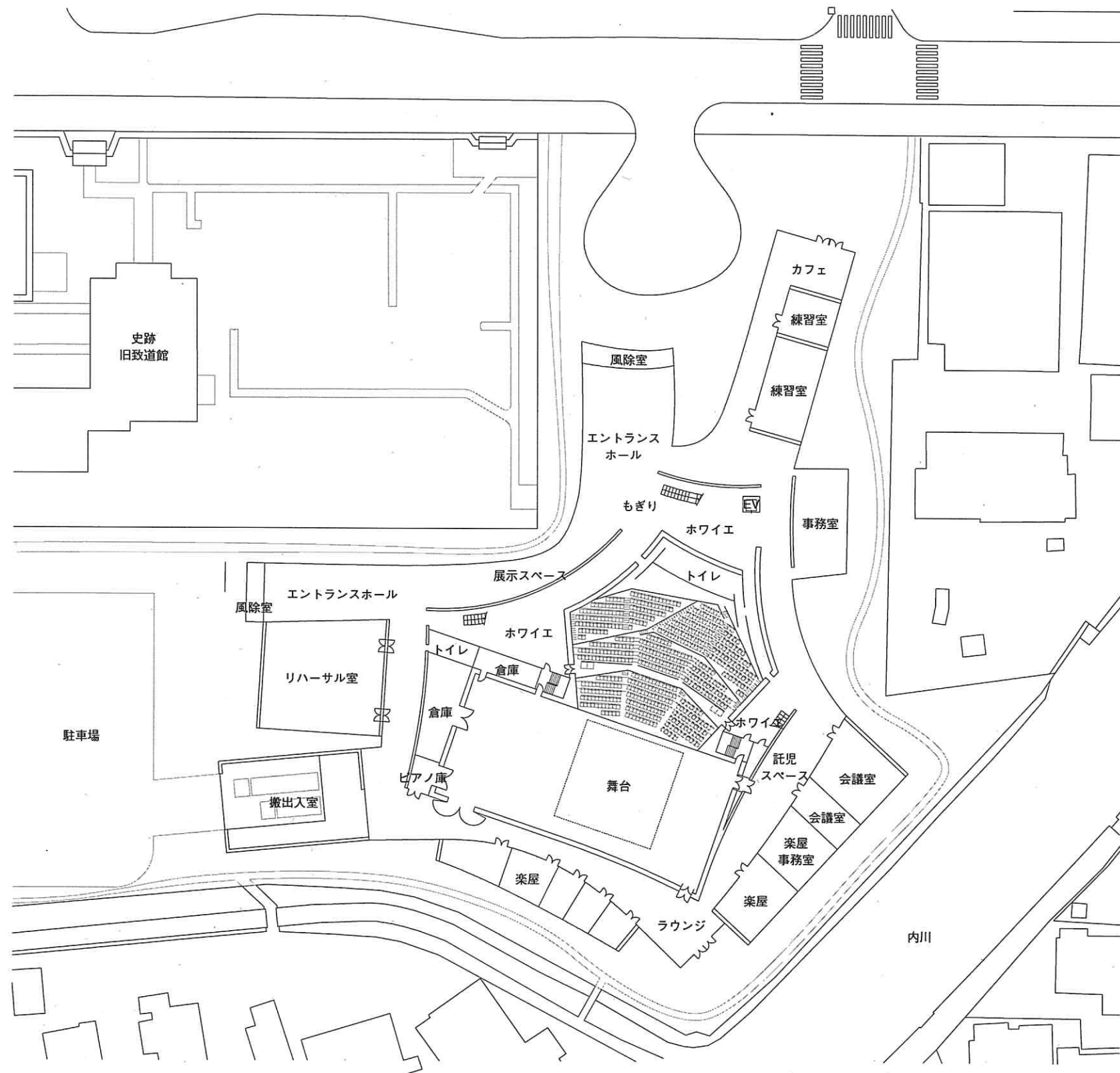
今年度も先進地視察を計画中です。日程については改めてご案内いたします。

※候補施設：新潟県柏崎市文化会館「アルフォーレ」等

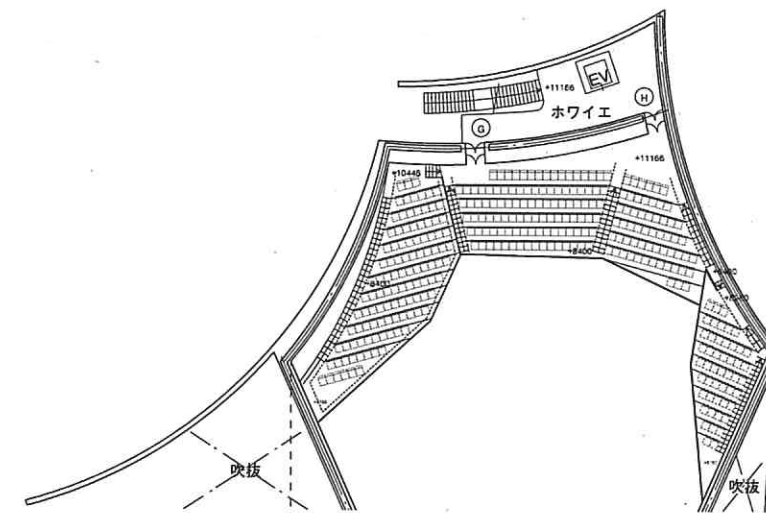
(2) 「基本設計」市民説明会の開催について

○文化会館改築設計「基本設計」市民説明会の開催について

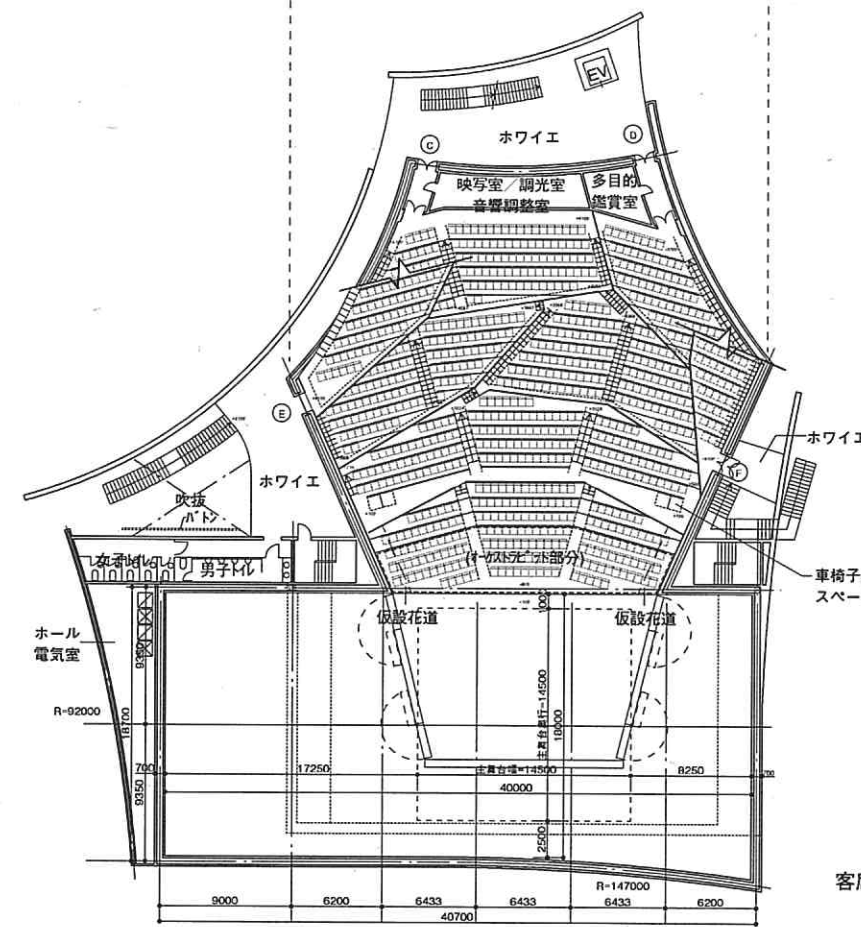
- ・日時…平成25年5月12日(日) 午前10時～正午(予定)
- ・場所…鶴岡市総合保健福祉センター「にこ・ふる」 3階 大会議室
- ・内容…設計者から基本設計の概要についての説明、意見交換など



全体平面図 1/700



客席上部 平面図
GL+11000



客席下部 平面図
GL+6100

ホール部分平面図 1/500

第1回・第2回の会議で提案しております内容に、事務局素案やご提案いただいた内容を加え、I～Ⅲまでを作成いたしました。再度ご検討いただきますようお願いいたします。

鶴岡市文化会館管理運営計画（素案）

目 次

I	管理運営計画策定の背景	1
1	これまでの経緯	主に第2回・第3回で検討
2	上位計画での位置づけ	
3	管理運営計画の目的	
II	管理運営の基本方針	5
III	事業計画	6
1	自主事業の方針	主に第3回・第4回で検討
2	イベント及び開館記念事業	
3	貸館システム	
IV	運営主体・組織	主に第4回・第5回で検討（予定）
1	運営主体の方向性	
2	運営組織図（案）	
3	市民参加の方向性	
4	市民ボランティア	
5	市民サポーター	
V	収支計画	主に第6回で検討（予定）
1	収支の基本的な考え方	
2	収支の構成	
VI	広報計画	主に第6回で検討（予定）
1	広報計画の基本的な考え方	
2	開館前後の広報計画	
VII	今後のスケジュール	主に第6回で検討（予定）
1	管理運営計画策定後から開館まで	
2	開館後の予定 など	

I 管理運営計画策定の背景（素案）

1 これまでの経緯

(1) 文化会館再整備の方針決定

鶴岡市文化会館は、1971年（昭和46年）の開館以来、音楽、演劇などの鑑賞の場、芸術文化団体や児童生徒たちの発表の場などさまざまな文化活動の拠点施設として多くの市民に利用されてきましたが、建設から約40年が経過し、施設設備の老朽化が著しく、機能性や利便性の面で様々な問題を抱え、抜本的な施設設備の改修若しくは改築による整備が必要になっていました。

平成22年度、庁内の関係部課で構成する「文化会館整備に関する庁内検討会議」において再整備の検討を行い、当初は、大規模改修による長期間の継続使用が可能かどうかという検討を行いましたが、改修による整備では、機能的な面で大きな課題が残り、また改修後の建物の耐用年数は15～20年程度と推測され、多額の改修費用をかけて整備しても、近い将来また改修や改築が必要となる可能性が大きいことから、再整備については大規模改修ではなく、合併特例債を活用しての改築による整備を基本に進めることにしました。

建設場所については、本市の総合計画やまちづくりの目標により、都市機能の集積という側面から中心市街地に立地すべき施設であり、芸術文化団体等からも中心市街地への建設が要望されていた状況を踏まえ、建設場所の候補地として、市が所有する旧荘内病院跡地と現文化会館・青年センター敷地（市役所第二駐車場を含む）の2ヶ所について検討を行いました。検討の結果、①長期的な視点でのまちづくりの観点から、中心市街地における文教施設の集積地としての立地や賑わいの創出 ②利用者の利便性の観点から、近隣周辺に整備された公共駐車場がある優位性 ③現施設を解体する費用について、合併特例債の活用が可能であるという利点を考慮し、約2年半の休館が必要とはなりますが、現文化会館・青年センター敷地を適地として選定しました。

(2) 整備基本計画の策定

平成23年6月に、有識者、住民自治組織、芸術文化団体、関係機関等の代表者や公募市民からなる「鶴岡市文化会館整備検討委員会」を設置し、整備基本計画案の検討を進めてきました。また、舞台芸術等の経験者や利用者、関係団体等の専門委員会や利用者懇談会の開催、さらには計画案に対する意見公募を実施し、これらの意見も参考にして平成24年3月に「文化会館整備基本計画」を策定しました。

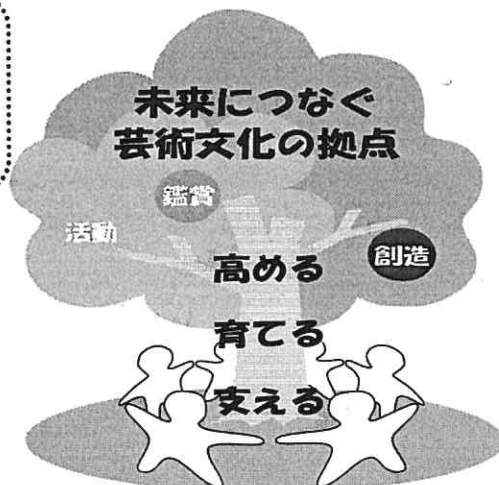
●基本理念

(「文化会館整備基本計画」より抜粋)

「 ^{ささ}支える ^{そだ}育てる ^{たか}高める 」

未来につなぐ芸術文化の拠点

「文化会館は、舞台芸術を中心とした市民の多様な文化活動を支え、未来の担い手を育み、芸術・文化性を高め、人々が集い、交流し、未来につなぐ芸術文化の拠点を目指します。」



●目指す施設の方向性

- 1 音楽・舞台芸術をはじめ多様な市民の文化活動を支える施設
 - ・響きがよく、様々な音楽、舞台芸術、講演会等に対応するホール
 - ・多様な舞台芸術に対応する十分な広さと設備のある舞台 など
- 2 演奏者や演者が使いやすく、機能性の高い施設
 - ・舞台とりハーサル室、楽屋等との動線に配慮した配置
 - ・機能的で安全性の高い舞台機構、音響、照明等の設備 など
- 3 児童生徒をはじめ、全ての世代の芸術文化活動の発表ができる施設
 - ・多人数の合唱や吹奏楽等の発表に対応するホールや舞台
 - ・複数の練習室やリハーサル室等の整備 など
- 4 利用者にとって快適な設備・空間を備える施設
 - ・快適なホール座席シート
 - ・ゆったりしたエントランスホール、ホワイエ など
- 5 ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが利用しやすい施設
 - ・バリアフリー、ユニバーサルデザインの施設設備
 - ・障害者が安心して利用できる施設 など
- 6 環境に配慮した、地域資源を活用する施設
 - ・省エネへの配慮、自然エネルギーの活用
 - ・地場産木材の活用 など
- 7 維持管理にかかる経費を抑えた施設
 - ・コンパクトで維持管理が容易
 - ・ランニングコストの低減に配慮 など
- 8 市民参加・協力型の運営を目指す施設
 - ・利用団体等の管理運営への協力
 - ・事業企画等への市民参加協力 など
- 9 周辺の文教施設との機能的な連携や都市景観に配慮する施設
 - ・旧致道館、アートフォーラム等周辺施設との関係
 - ・歴史的建造物やまち並み景観等への配慮 など

(3) 設計者の選定、基本設計・実施設計について

設計者の選定については、公募型のプロポーザル方式を採用し、外部委員を含む設計者選定委員会で、代表企業枠の特定者として株式会社妹島和代建築設計事務所を選定し、その後、市内企業2者との設計共同企業体結成を経て、8月6日に文化会館改築設計業務について妹島・新穂・石川共同体と契約を締結しました。

また、基本設計・実施設計を進めるにあたっては、設計者が直接市民に説明する機会や、できるだけ多くの市民から意見を聞く機会が必要と考え、市民説明会やワークショップ、利用者懇談会、近隣住民説明会等を開催し、いただいた意見を参考にして進めてきました。



公募型プロポーザル方式により設計者を選定し、ヒアリングについては公開により実施した



市民説明会で提案内容を説明



ワークショップを開催し意見をいただく

2 上位計画での位置づけ

次の上位計画に施設整備や芸術文化の振興が位置づけられています。

(1) 新市建設計画

鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町の1市4町1村が合併後の新市を建設していくための基本方針と主要な施策などを定めた新市建設計画において、新市の施策「3誇れる文化の継承・発展と交流の拡大」の中で、文化活動の中核施設等の整備を掲げています。

(2) 鶴岡市総合計画

鶴岡市総合計画（平成21年1月策定）の第3章「未来を担う子どもたちが、よりよい環境のもとでいきいきと育ち、それぞれの世代がともに学びあえる地域社会を創ります」における、第4節「芸術の振興と文化資源の保存継承（1）市民の芸術活動の環境の充実」の主な施策として、「文化都心である中心市街地地区に現代的な機能を備えた文化会館を改築整備するとともに、国内外の優れた芸術の鑑賞機会の充実を図る」ことを掲げています。

(3) 鶴岡市文化会館整備基本計画

鶴岡市文化会館整備基本計画（平成24年3月策定）において、基本理念や基本方針、施設計画、運営計画、整備スケジュールなどに関する市の基本的な考え方を定めています。

(参考) 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年 法律第49号）の定める趣旨「心豊かな国民生活及び活力ある地域社会の実現並びに国際社会の調和ある発展に寄与すること」に沿って、劇場、音楽堂等の活性化に係る取組をはじめ、芸術文化の振興が求められています。

3 管理運営計画の目的

新文化会館においては、ハード整備だけではなくソフト事業も一体となり、車の両輪となって、市民の多様な文化の拠点となる文化会館を活性化し、心豊かな地域づくりを推進していく必要が求められています。

そのために、この管理運営計画では「整備基本計画」における基本理念に基づいた管理運営体制の構築を目指し、事業計画や運営組織及び市民参加のあり方等について基本的な指針を定めるものです。

II 管理運営の基本方針（素案）

1 市民の舞台芸術を中心とした多様な文化活動を支えるため、様々な目的に対応する現代的な機能を備えた「活動の拠点」。

舞台芸術をはじめとする様々な文化活動に必要な現代的機能を備え、市民の多様な活動を支えることで、文化活動がさらに活性化され、新たな芸術文化への創作意欲を高めます。

2 未来を担う子どもたちを育て、次代につなぐ市民主体の芸術文化活動を一層促進するため、練習や公演の場として必要な機能を備えた「創造の拠点」。

様々な芸術文化活動の日常的な練習や公演の場所を整備することで、子どもたちを含む全ての世代の活発な創造の輪がひろがり、次代につなぐ市民主体の芸術文化活動を一層促進します。

3 市民の芸術・文化性を高めるため、国内外の優れた舞台芸術等に触れることができる「鑑賞の拠点」。

音楽、演劇、舞踊などの優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、感動や生きる喜びをもたらし、感性の伸長による芸術文化のレベルアップを図ります。

4 鶴岡が誇る芸術文化活動やその魅力を広く伝えるための「発信の拠点」。

鶴岡市内の芸術文化団体の活動を発信することで、芸術文化活動が持つ魅力を認知させ、市民のより一層の芸術文化振興と地域ブランド力を高めます。

5 市民が集い、出会いつながるための「交流の拠点」。

常に人の動きがある開かれた文化会館を目指し、市民が集い、そして出会いつながり、その交流によって街のにぎわいや新しい文化を創造します。

Ⅲ 事業計画（素案）

1 自主事業の方針

現文化会館において、近年は施設を所管する教育委員会が主催及び共催しているいくつかの事業はありましたが、主に貸館中心の管理運営が行われてきた背景がありました。新文化会館においては、貸館事業も「市民活動支援事業」として自主事業のひとつと考え、それらも含めて全体のバランスを取りながら、効果的な事業を実施していきます。それによって、施設の存在意義がより明確になり、地域への文化貢献度がさらに高くなることが期待できます。

①「活動の拠点」→ **活動支援・施設提供事業** → 支える

市民の多様な活動を支え文化活動をさらに活性化するため、また新たな芸術文化への創作意欲を高めるために、練習やリハーサル場、成果発表の場として施設を貸し出して、稼働率の高い施設を目指します。

■市民活動支援事業

芸術文化団体の自主公演や、市民の様々な施設利用に対して、専門的な見地から様々な支援を行い、文化活動の活性化につなげます。

また、市内の芸術文化団体や個人が、継続的に文化活動を行っていくための支援体制を充実させます。

- ・施設の利活用に関する助言やサポート
- ・舞台設備、備品の取扱いに関する技術指導
- ・地元運営スタッフの人材育成（照明、音響等）
- ・相談、支援体制の充実

■施設情報提供事業

ホームページ等により積極的な情報提供を行い、施設の稼働率アップにつなげます。

- ・ホームページで、施設の基本情報や空き情報の公開
- ・施設内での各種情報掲示（イベント情報、ボランティア情報など）

②「創造の拠点」→ **育成・創造事業** → 育てる

文化活動を行っている個人や団体を育成するための事業や、新たに文化活動を行う市民を増やしていくための事業を行い、子どもたちを含む全ての世代の活発な創造の輪を広げ、次代につなぐ市民主体の芸術文化活動を一層促進させます。

■芸術文化体験事業

市民が芸術文化に触れるきっかけとして、気軽に創造活動を体験できる事業を行っていきます。特に子どもたちが日常的に芸術文化を体験できる機会をつくります。

- ・演劇、合唱、器楽、舞踊などの体験事業
(鑑賞事業と連携した、ワークショップ・アウトリーチ事業の開催)
- ・子どもを主体にした芸術祭
- ・高齢者の発表会の場
- ・既存事業の開催支援、サポート
 - ※鶴岡市合唱祭
 - ※小学校演劇教室
 - ※小学校合同音楽会、中学校合同音楽会
 - ※学校の研究発表会 など

■芸術文化活動育成事業

鶴岡市の芸術文化活動育成として、児童生徒を対象とした吹奏楽の楽器講習会や、合唱団の底辺拡大や資質の向上を図るため指導者を招いての発声講習会などを実施します。

- ・吹奏楽楽器講習会
- ・合唱団発声講習会

■伝統芸能普及事業

日本古来の邦楽・邦舞や、鶴岡の伝統芸能を披露したり育成したりする事業、また地域資源を発掘する事業を行い、文化の継承や新たな担い手の育成につながる契機とします。

- ・邦楽・邦舞合同公演の開催
- ・地域の伝統芸能の開催支援、育成事業

③「鑑賞の拠点」→ **鑑賞事業** → 高める

国内外の音楽、演劇、舞踊などの優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供し、感動や生きる喜びをもたらし、感性の伸長による芸術文化のレベルアップを図ります。また、鑑賞活動を楽しむ層を広げ、日常生活への浸透を図ります。

■優れた芸術文化鑑賞事業

国内外の様々な分野の優れた舞台芸術を鑑賞する事業を行い、特に子どもたちへ本物の芸術文化に触れる機会をつくります。

- ・国内外の優れた舞台芸術公演
- ・山形交響楽団鶴岡公演
- ・鶴岡音楽祭
- ・各種助成事業の活用

■鶴岡ゆかりの鑑賞事業

鶴岡出身の若手音楽家に演奏の場を提供し、育成を図っていくとともに、市民が質の高い音楽を身近に感じることができる場を創出します。

- ・緑の風コンサート（鶴岡出身の若手音楽家のコンサート）

④「発信の拠点」 → **情報発信事業** → 伝える

鶴岡市内の芸術文化団体、主に全国レベルの団体の活動については積極的に発信することで、芸術文化活動が持つ魅力を認知させ、市民のより一層の芸術文化振興と地域ブランド力を高めていきます。

■鶴岡の芸術文化蓄積・発信事業

鶴岡で行われる様々な事業や地域資源、情報を収集・蓄積し、広く発信していきます。特に、全国レベルの活動団体については、活動の成果を広く発信できる環境の整備を整えます。

- ・文化会館へ足を運ばない方にも、インターネットや録画を通じて提供
- ・インターネット等を活用し、活動の成果を前面に出せる環境の整備

⑤「交流の拠点」 → **交流・にぎわい創出事業** → つながる

芸術文化を通じた活動や交流の場を提供することで、様々な情報や人が集まり、出会いそしてつながり、そこから新たな文化や交流が生まれていく、まちづくりの拠点を目指します。また、多様な文化活動の拠点としてだけでなく、常に人の動きがある開かれた文化会館を目指し、市民がいつでも気軽に集い、街のにぎわいへとつながる事業を行います。

■他ジャンルとの連携事業

鶴岡のオリジナリティーを活かした事業を検討します。

- ・映画文化とのコラボレーション
- ・食文化都市として食文化イベントとのコラボレーション

■施設活用事業

エントランスやロビーなどの周辺空間を活用した展示やコンサートの開催など、誰もが気軽に立ち寄り楽しめる事業を行います。

- ・舞台芸術等に関わる郷土ゆかりの人びとの展示
- ・アートフォーラムと連携した展示事業
- ・エントランスやロビーでのミニコンサート

2 プレイメント及び開館記念事業

(1) プレイメント

開館への期待を高めながら、ネットワークづくりを行ったり、ノウハウを蓄積しスタッフを育成したり、開館後のスムーズな運営を実現するために、施設見学会なども含めたプレ事業を実施します。

(2) 開館記念事業

多くの事例では、開館を祝す記念式典と、半年から1年間をかけた長期分散型の記念公演等の双方を実施しています。分散により、事業の準備期間が確保され、事業の実施結果を次の事業に反映しやすくなります。

■開館記念式典

新文化会館が開館することを記念し式典を実施します。より多くの市民や関係者に開館を祝してもらえる機会となるように、地元の伝統芸能の披露なども含めて計画します。

■開館記念公演等

開館初年度の公演については、施設のイメージ形成に大きく影響を与え、開館後の事業の方向性を決めるものとなるため、市民とともに作り上げていく事業も含め、実施可能な範囲で幅広い事業を計画します。

★参考資料：「資料2-2」(「希望ホール」の開館記念事業パンフレット)

3 貸館システム

(1) 貸館の基本的な考え方

施設の管理運営の基本的な事項となる規則等は、市の条例・規則などで整備することになりますが、利用者にとって使いやすい施設にすることを基本とし、より利便性の高い施設となるように定めていくことが望まれます。

これらの基本ルールが定まらないと、利用者への施設貸出しが出来ないため、利用受付を開始する時期を視野に入れた上で、検討を行っていきます。

(2) 開館時間

現文化会館	8：30～22：00
希望ホール	9：00～22：00
響ホール	9：00～22：00

(3) 休館日

現文化会館	年末年始（12/29～1/3）
希望ホール	毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12/29～1/3）
響ホール	月1回（概ね月の最終月曜日）、年末年始（12/29～1/3）

※施設利用者にとっては、定期休館日を設けない方が望ましい。

※施設の適切な管理運営とランニングコスト軽減のためには、定期休館日を設ける方が望ましい（人件費・維持管理費の削減、保守点検や臨時的なメンテナンス作業の実施）。

(4) 申込期間と受付時間

現文化会館	利用日の1年前の日 8：30～17：00（土日祝日は除く）
希望ホール	●大ホール・小ホール：12ヶ月前の初日に受け付け ※大ホール・小ホールを催し物で利用し、控え室等として練習室1・2・3・会議室の利用を希望する場合は、一年前予約も可能。 ●練習室1・2・3・会議室：6ヶ月前の初日に受付 【初日受付】9：00～15：00 【通常受付】9：00～19：00
響ホール	利用日の1年前の日 9：00～22：00

(5) 連続使用

現文化会館	原則、引き続き5日以内
希望ホール	原則、引き続き5日以内
響ホール	制限なし

(6) 施設利用の受付方法

現文化会館	重複した場合、申請者との協議により決定
希望ホール	15:00 までの申込み（来館・電話）を同着とする。 ○重複がない場合 そのまま予約が確定した旨を 15:00 過ぎに電話連絡。 ○重複した場合 ①15:00 以降、各申込者に重複があった旨を電話連絡。 ②各申込者と、調整会議を希望ホールの事務室で行う。 18:00～文化スポーツ振興課職員立会いの下、調整会議 を行い、協議が整わない場合は抽選で決定いたします。
響ホール	重複した場合、申請者との協議により決定

(7) 施設利用料、時間帯区分

施設利用料については、近隣の施設とも比較の上、利用しやすい料金設定とし、分かりやすい料金体系を設定します。

★参考資料：「資料2-3」（現文化会館、希望ホール、響ホールの料金表）

①平日・土日祝日料金の差異

※「現文化会館」、「希望ホール」では差異があるが、「響ホール」は差異なし

②入場料等徴収時の割増

※「現文化会館」、「希望ホール」、「響ホール」において、割増あり

③物販・商業宣伝・営業目的等での利用時の割増

※「現文化会館」、「希望ホール」、「響ホール」において、割増あり

④利用料金の割引・減免

※「現文化会館」、「希望ホール」

・準備・撤去・リハーサルの場合 → 基本使用料の50%

※「響ホール」

・準備・撤去・リハーサルで舞台のみを使う場合 → 基本使用料の30%

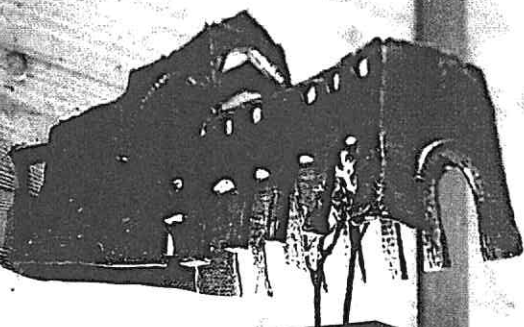
・舞台を除いて大ホールを使用する場合 → 基本使用料の70%

平成16年度 開館記念事業

待望の酒田市民会館「希望ホール」がいよいよ平成16年7月3日開館します。
その幕開けとして、「開館記念式典」が華やかに開催されます。
「開館記念式典」に続き、素晴らしい舞台芸術が次々と
私たちの目の前で繰り広げられます。酒田市での芸術文化活動の振興と
新たな文化の創造を担う「希望ホール」。
今、芸術という名の希望が、私たちに舞い降ります。

資料 2-2

希望が、 舞い降りる場所。 酒田市民会館 「希望ホール」



酒田市民会館 「希望ホール」 開館記念式典

主催◆酒田市

日時◆平成16年7月3日(土) 入場料◆無料(整理券が必要です)

13時00分●テープカット

●大蔵流「三番三(さんばそう)」

出演◆茂山 逸平(大蔵流狂言方) ほか

●式典

●記念演奏「最上川」

出演◆市原 多朗、酒田マリーンジュニア合唱団、酒田市合唱連盟

●記念演奏 ピアノ◆有森 博

酒田市民会館「希望ホール」の開館を祝い、平成16年7月3日(土)に記念式典を行います。狂言役者・茂山逸平による清めと祝言の芸能「三番三(さんばそう)」やピアニストによる新しいピアノの披露、市原多朗と市民の皆様との合唱が予定されています。



「三番三」茂山 逸平

市原 多朗

有森 博

茂山 逸平

profile

大蔵流狂言方。1979年二世茂山七五三の次男として生まれる。父および祖父四世茂山千作に師事。4歳で初舞台。1994年に兄彦宗、従兄・茂と「花形狂言少年隊」を結成し活動。2000年より教育的古典狂言推進準備研修練磨の会「TOPPA!」を主催し活動。一方で映画やドラマ、兄と共に新作二人芝居に挑戦など幅広く活躍。

市原 多朗

profile

東京芸術大学、同大学院修了。1981年第21回ヴェルディ国際コンクール第2位(1位なし)。第19回フランシスコ・ヴィニヤス国際コンクール第1位大賞他受賞。以来パリ・オペラ座やアメリカ・メトロポリタン歌劇場をはじめ、欧米の歌劇場や音楽祭で活躍。現在も世界各地および国内のオペラや演奏会で活躍。1987年芸術選奨文部大臣賞新人賞、ジロー・オペラ大賞、1990年酒田市特別功労表彰。

有森 博

profile

東京芸術大学、同大学院修了。1990年第12回ショパン国際ピアノコンクール最優秀演奏賞。1991年岡山県芸術顕彰受賞。1994年第10回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門入賞。1995年、2001年に小沢征爾指揮新日本フィル、2003年にはアレクサンドル・ラザレフ指揮日本フィルと協演。2004年、小沢征爾指揮サイトウキネンオーケストラのヨーロッパツアー及び日本公演に出演予定。

「希望ホール」開館記念事業①

市原 多朗&佐藤しのぶ オペラアリアコンサート

こけら落とし公演

日時◆平成16年7月4日(日)

チケット発売日◆平成16年4月24日(土)午前10時

開場◆18時30分 開演◆19時00分

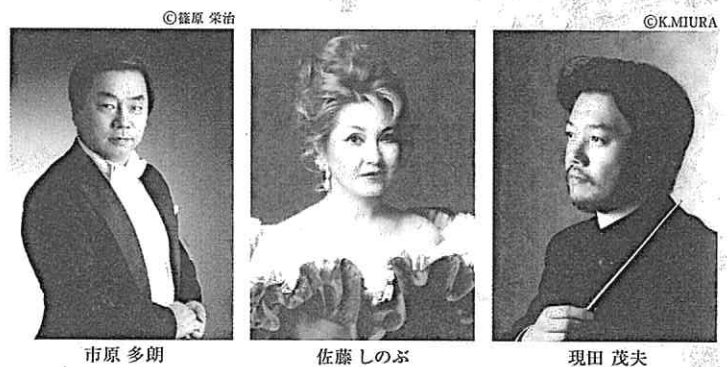
曲目◆ブッチーニ作曲 歌劇「トスカ」より

●歌に生き 恋に生き

●星は光りぬ ほか

出演◆Tenor 市原 多朗、Soprano 佐藤しのぶ、

Conductor 現田 茂夫、Orchestra 東京交響楽団



市原 多朗

佐藤しのぶ

現田 茂夫



東京交響楽団

市原 多朗

プロフィールは、開館記念式典の欄をご覧ください。

佐藤しのぶ

profile

若くして「椿姫」で鮮烈にデビュー。抜きんでた歌唱、迫真の演技、そして華麗な舞台姿は人々に圧倒的な感銘を与え、百年に一度の大器と絶賛される。1998年11月に「蝶々夫人」でウィーン国立歌劇場主役デビューを飾ったのち、ケルン市立歌劇場やベルリン・ドイツ・オペラなどでも主役を歌っている。文化放送音楽賞、都民栄誉賞、ジロー・オペラ賞大賞、マドモアゼル・パルファム賞、日本文化デザイン賞大賞等を受賞。

現田 茂夫

profile

東京音楽大学指揮科、東京芸術大学修了。1985年安宅賞受賞。1987年、新星日本交響楽団指揮者に就任。1988年来日中のドレスデン・フィルに客演して以来、国内外の主要オーケストラを指揮。1990年、ウィーン国立歌劇場に国費留学。以後、国際派指揮者として活躍。2004年秋にはスロヴァキア国立歌劇場での公演と日本公演が決定。

東京交響楽団

profile

1946年創立。音楽監督・常任指揮者に秋山和慶、正指揮者に大友直人、指揮者に飯森範親、首席客演指揮者にユベール・スターンを擁する。邦人作品を含む現代音楽の初演などの活動の功績で、これまで文部大臣賞、京都音楽賞大賞をはじめ数々の賞を受賞。文化庁から芸術団体支援事業に選定。海外公演も19カ国67公演を数える。

「芸術文化活動の振興と新たな文化の創造」を目指し、質の高い舞台芸術文化の提供(観賞活動事業)を行うとともに、芸術ワークショップなど市民主体の文化活動を行います。今年度の観賞活動は、新市民会館「希望ホール」の初年度にあたり、「開館記念事業」として行います。

「希望ホール」開館記念事業②

松竹大歌舞伎 四代目 尾上松緑 襲名披露公演

日時◆平成16年7月7日(水)

チケット発売日◆平成16年4月24日(土)午前10時

開場◆17時30分 開演◆18時00分

演目◆第一幕「義経千本桜」川連法眼館の場

第二幕 四代目尾上松緑襲名披露「口上」

第三幕 新古演劇十種の内「身替座禅」

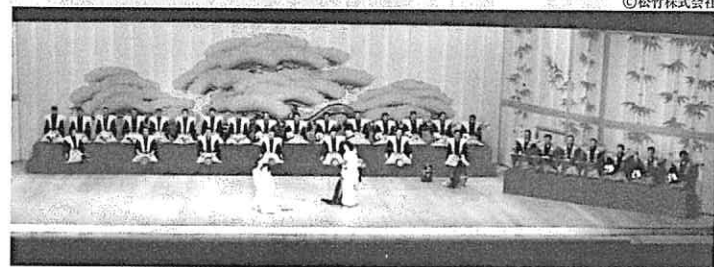
出演◆辰之助改め 尾上松緑、中村 富十郎、

坂東 彦三郎、中村 信二郎、市川 亀治郎 ほか



©松竹株式会社

二代目 辰之助改め 四代目 尾上松緑(音羽屋)



©松竹株式会社

身替座禅 舞台面

尾上 松緑

profile

1975年、初代尾上辰之助(三代目松緑)の長男に生まれる。1980年、国立劇場「山姥」の怪童丸で初お目見え。翌年、歌舞伎座「幡随長兵衛」で二代目尾上左近を名乗り初舞台。1991年、歌舞伎座「対面」で二代目尾上辰之助を襲名。2002年、歌舞伎座「勅進帳」の弁慶ほかで四代目尾上松緑を襲名。国立劇場特別賞、歌舞伎座賞、松竹会長賞等を受賞。

「義経千本桜」川連法眼館の場

解説と見どころ

吉野の山中が舞台の「川連法眼館の場」は、伏見稲荷からずっと静御前に同道してきた忠信が、実は狐であったことが明らかになる場面。見処は何と言っても、一人の役者が本物の忠信と狐を演じ分けるところ。狐忠信の狐詞やケレンと呼ばれる演出等、舞台から眼を離すことが出来ない。

「希望ホール」開館記念事業③・宝くじ文化公演

小曾根 真&山形交響楽団 シンフォニック ジャズ コンサート

日時◆平成16年9月10日(金)

開場◆18時30分 開演◆19時00分

曲目◆フット作曲 組曲ホ長調 作品63

ガーシュウィン作曲 ラブソディ・イン・ブルー

小曾根真作曲 ピアノ協奏曲 “もがみ”

出演◆小曾根 真(Piano & 指揮)&ストリングス、

Conductor 佐藤 寿一、Orchestra 山形交響楽団



小曾根 真



山形交響楽団

小曾根 真

profile

神戸市出身。世界的ジャズピアニスト。1983年、ボストンのパークリー音楽大学ジャズ作・編曲科部門を首席で卒業。同年、ジャズ界では最年少(22歳)でカーネギーホールでのリサイタルを開催、好評を得る。その後アメリカを中心に意欲的な作曲・演奏活動を展開。2003年度は“グラミー賞”候補にも上がったほどの実力派。

山形交響楽団

profile

1972年、東北初のプロオーケストラとして発足。演奏活動範囲は東北6県・新潟県まで拡大し、その後山形県芸術文化会議賞、斎藤茂吉文化賞、第28回河北文化賞を相次いで受賞。1987年サントリーホールにて初の東京公演を開催。これまで計7回の東京公演を成功させ、1995年には初の海外公演。2001年サントリー地域文化賞を受賞。

「希望ホール」開館記念事業⑤

小澤 征爾指揮 新日本フィルハーモニー 交響楽団コンサート

日時◆平成16年12月17日(金)

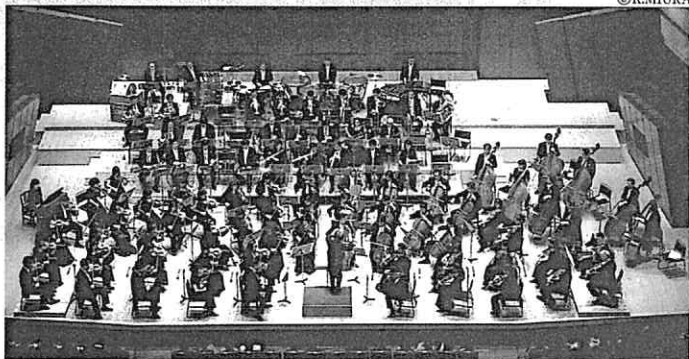
開場◆18時00分 開演◆18時30分

出演◆Conductor 小澤 征爾、

Orchestra 新日本フィルハーモニー交響楽団



小澤 征爾



新日本フィルハーモニー交響楽団

小澤 征爾 profile

1935年、中国・奉天(現瀋陽)出身。成城学園を経て桐朋学園で斎藤秀雄に指揮を学ぶ。1959年ブザンソン国際指揮者コンクール第1位。旧西ベルリンでヘルベルト・フォン・カラヤンに師事。1962年北米でデビューして以降、世界各地で活躍。1973年よりボストン交響楽団第13代音楽監督に就任し、20002年春まで務める。同年秋にウィーン国立歌劇場音楽監督に就任。日本においては、新日本フィルハーモニー交響楽団の桂冠名誉指揮者、水戸室内管弦楽団の顧問を務めている。

新日本フィルハーモニー交響楽団 profile

1972年指揮者・小澤征爾のもと自主運営のオーケストラとして創立。1997年に完成した東京・錦糸町のすみだトリフォニーホールを活動の本拠地とする日本初の本格的フランチャイズを導入。現在はサントリーホールでも定期演奏会を行っている。また学校や各種施設を訪れるミニ・コンサートなどで地域に根ざした演奏活動も展開している。昨年9月、音楽監督にクリスティアン・アルミンク(現ルツェルン歌劇場音楽監督・ルツェルン交響楽団首席指揮者)を迎え、楽界の注目を集めている。

「希望ホール」開館記念事業⑥

劇団スイセイ・ ミュージカル公演 「FAME」 ～フェーム～ オーケストラによる生演奏上演

日時◆平成17年2月19日(土)

演出◆西田 直木 日本語台本◆西田 直木、スイセイ・フロンティア

振付◆吉田 潔、阿部 雅浩 演出助手◆松井 みずき

製作◆株式会社スイセイ・ミュージカル

Conceived and Developed by DAVID DE SILVA

Book by JOSE FERNANDEZ

Lyrics by JACQUES LEVY

Music by STEVE MARGOSHES



ミュージカル「FAME」



©劇団スイセイ・ミュージカル

安奈 淳(元宝塚花組)トップスター



佐藤 志穂(酒田市出身)

劇団スイセイ・ミュージカル profile

1998年にミュージカル劇団として発足。それまではプロデュース公演を続けてきた。オリジナルミュージカルのほか、現在世界各地、またブロードウェイでも上映中のロンドンミュージカル「FAME」は昨年東京・大阪で上演され、オールスタンディングで大好評。東京都を拠点に活動し、洗練された演技と迫力あるステージを繰り広げる舞台に、根強いファンが多い。

ミュージカル「FAME」 解説と見どころ

舞台はニューヨークの芸術高校。最高のアーティストを育てる芸術学校で、さまざまな人種の若者達が自らの手でフェーム(名声)を掴むという夢を求めて懸命に生き、人間として成長していく姿を通して、「生きる」という普遍的なテーマを浮き彫りに描いた作品。全編生演奏で繰るステージは、全ての世代の心に響く感動の舞台。

「希望ホール」開館記念事業
ポピュラーコンサートは、
平成16年11月に予定されています。

チケットの発売について

こけら落とし公演

市原 多朗&佐藤 しのぶ オペラ アリア コンサート

入場料●S席(指定)8,000円、A席7,000円(学生3,000円)

チケット発売日●平成16年4月24日(土)午前10時

チケット発売場所●中合清水屋、みずほ八文字屋、
八文字屋エビスヤ店(鶴岡市)、
酒田市教育委員会文化課(庄内情報プラザ内)

※文化課での発売は、平成16年4月24日(土)午前10時から
庄内情報プラザ1階で行います。ほかの土曜・日曜・祝日は販売いたしません

松竹大歌舞伎 四代目 尾上松緑 襲名披露公演

入場料●S席(指定)7,500円、A席5,500円(学生3,000円)

チケット発売日●平成16年4月24日(土)午前10時

チケット発売場所●中合清水屋、みずほ八文字屋、
八文字屋エビスヤ店(鶴岡市)、
酒田市教育委員会文化課(庄内情報プラザ内)

※文化課での発売は、平成16年4月24日(土)午前10時から
庄内情報プラザ1階で行います。ほかの土曜・日曜・祝日は販売いたしません

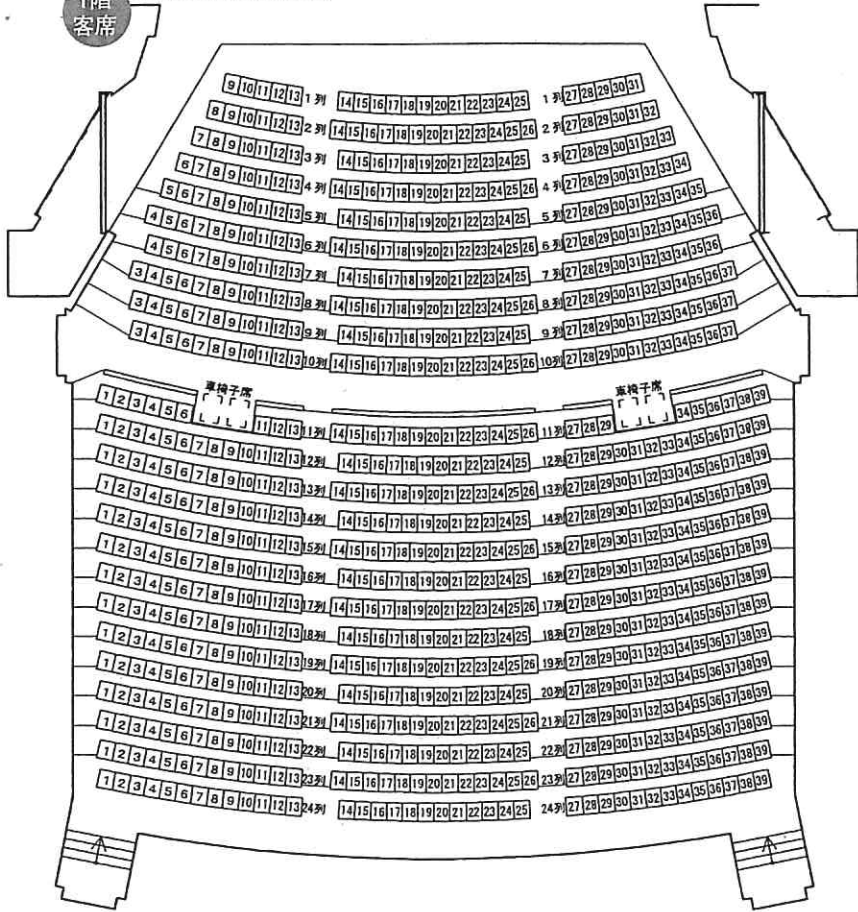
これ以外の事業については、決まり次第お知らせします。
なお、学生券(大学生を含む)購入の際には、学生証をご提示ください



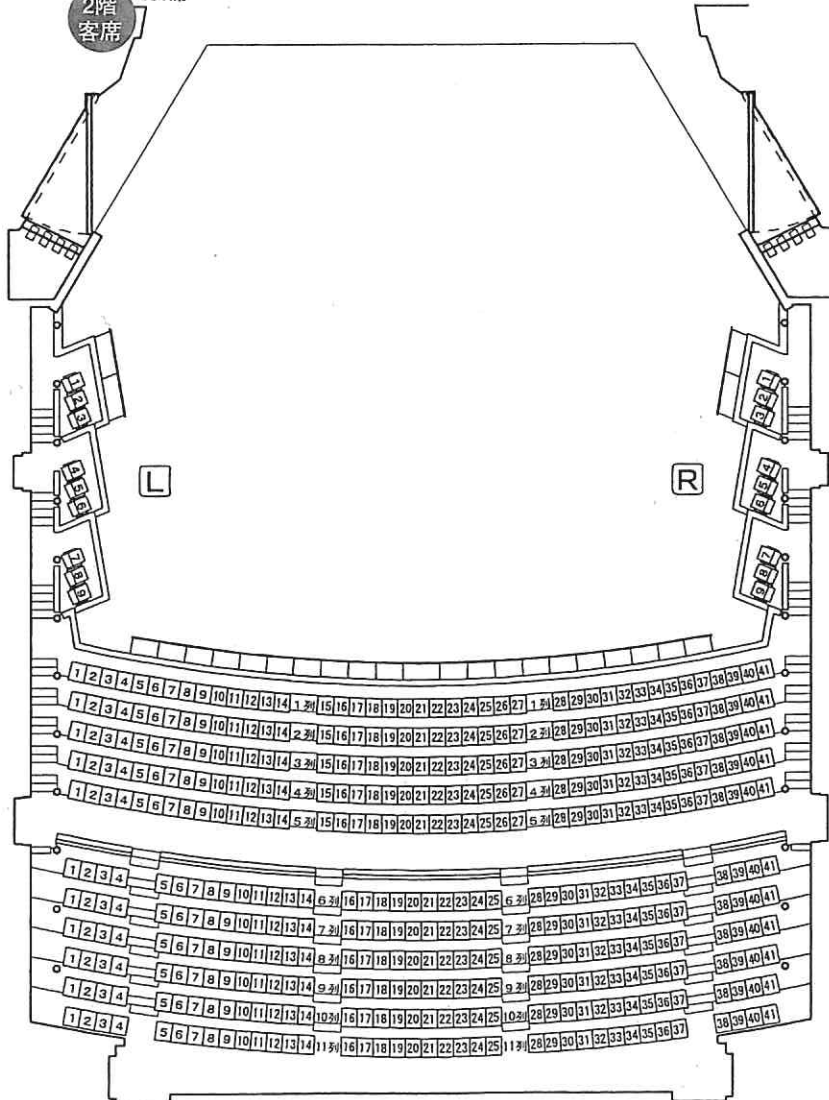
所在地	酒田市本町二丁目2番10号
建設面積	9,797.04㎡
延床面積	8,673.75㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下2階、地上5階
大ホール	1,287席(うち車いす席4席) 舞台面積約700㎡、客席面積約1,120㎡
小ホール	約150席(移動いす)、約180㎡ リハーサル室としての利用のほか、 約150席のミニ演奏会や会合などに利用できる多目的ホール
練習室1	約138㎡ 防音防振構造で、楽器演奏や舞踊、バレエなどの練習に最適です
練習室2、3	約28㎡ 少人数での練習に適しています
楽屋1~7	約20~41㎡ 利用人数に応じて7部屋あります。出演者が多い場合は、 専用通路で結ばれた練習室なども楽屋として利用できます
会議室	約35㎡ 来賓や講師の控え室、会議等に利用できます
託児室	約27㎡ 主催者の運営により託児サービスの保育室として利用できます



1階客席 836席(うち車椅子席4席)



2階客席 451席



主催❖ 希望ホール開館記念事業推進委員会、
希望ホール企画運営グループ、
酒田市、酒田市教育委員会。
会場❖ 酒田市民会館「希望ホール」
山形県酒田市本町二丁目2番10号 〒998-0043
tel.0234-26-5450 fax.0234-26-5452



お問い合わせ❖ 酒田市教育委員会文化課
山形県酒田市中町一丁目4番10号 庄内情報プラザ4階
〒998-0044 tel.0234-26-5778 fax.0234-23-2257

区分		基本使用料				
		午前	午後	夜間	全日	左記以外の時間又は超過した時間
		8時30分から12時まで	12時30分から17時まで	17時30分から22時まで	8時30分から22時まで	
ホール	平日	円 8,100	円 13,800	円 18,500	円 39,300	円 1時間につき 3,400
	土曜日	10,400	17,300	24,300	49,700	3,900
	日曜日					
	祝日					
会議室		800	1,000	1,200	3,000	350
第1研修室から第5研修室までの各室		550	750	1,100	2,400	280
第1和修室及び第2和修室の各室		550	750	1,100	2,400	280
視聴覚室		1,100	1,500	2,300	4,900	570
調理室		750	850	1,500	3,100	360
練習室		2,300	3,400	5,700	11,400	1,330

備考

- (1) 使用者が入場者から入場料又はこれに類する料金を徴収する場合は、基本使用料の額に次に定める額を加算した額とする。
 - ア 300円を超え500円以下のとき 基本使用料の5割に相当する額
 - イ 500円を超え1,000円以下のとき 基本使用料の8割に相当する額
 - ウ 1,000円を超えるとき 基本使用料の10割に相当する額
- (2) 入場料等に段階があるときは、その最高額を基準とする。
- (3) 入場者から入場料等を徴収しない場合でも、営利又は宣伝を目的として使用する場合は、基本使用料の10割に相当する額を加算する。
- (4) 準備又は練習等のため舞台、楽屋、ホワイエ、楽屋事務室のうち、いずれか一以上の施設を使用する場合は、基本使用料の5割に相当する額とする。
- (5) 午前と午後又は午後と夜間を引き続き使用する場合の中間時間に対しては、使用料を徴収しない。
- (6) 暖房を使用する場合は、1時間につき4,500円（会議室は450円）を加算する。ただし、備考第4号に係る楽屋については450円、舞台については1,700円の加算とする。
- (7) 冷房を使用する場合は、1時間につき3,300円（会議室は330円）を加算する。ただし、備考第4号に係る楽屋については330円、舞台については1,300円の加算とする。
- (8) 30分を超え1時間に満たないときは、1時間とみなす。

現文化会館「設備使用料金表」

(1) ホール及び会議室設備等使用料

	名称	単位	単価(円)	
照明設備	第1 ボーダーライト	列	1,160	
	第2 ボーダーライト	列	1,160	
	アッパ Horizont ライト	列	1,390	
	ロアー Horizont ライト	列	1,390	
	フットライト	列	460	
	スポットライト (1kw)	台	170	
	スポットライト (500W)	台	120	
	オーロラマシン	台	460	
	ミラーボール	台	460	
	波マシン	台	460	
	エフェクトマシン	一式	690	
	サイドピンスポット	台	460	
	センタースポット	台	1,160	
	エフェクトマシン (本体)	台	350	
	プロジェクター スポットライト	台	350	
	スポックス (500W)	台	460	
	ストリップライト	本	120	
	フラッドランプ	台	120	
	ブラックランプ	本	230	
	星球	一式	350	
	先玉・元玉	個	120	
	音響設備	拡声装置	一式	1,740
		ダイナミックマイク	本	350
コンデンサーマイク		本	580	
ワイヤレスマイク		本	810	
テープレコーダー		台	810	
CDプレイヤー		台	810	
音響反射板		一式	2,890	
ステージスピーカー (大)		台	580	
ステージスピーカー (小)		台	460	
カセットデッキ		台	580	
舞台設備		所作台	枚	120
	松羽目	一式	1,160	
	屏風 (金、鳥の子)	双	1,160	
	緋毛せん	枚	120	
	地がすり	枚	460	
	上敷	枚	60	

	平台	枚	60
	座布団	枚	60
	長座布団	枚	120
	演台	台	350
	司会台	台	350
	脇机（花台）	台	120
	指揮台	台	230
	譜面台	台	120
	指揮用譜面台	台	120
	長机	脚	120
	パイプ椅子	脚	60
	コントラバス用椅子	脚	120
	プログラムスタンド	台	120
	人形立	本	60
	スクリーン	一式	460
	大太鼓	台	580
	紗幕	枚	460
	浅黄幕	組	460
	紅白幕	組	460
	移動舞台	一式	5,260
その他の設備	オーケストラピット	一式	2,890
	ピアノ（A）	台	6,940
	ピアノ（B）	台	3,470
	シャワー	回／人	100
	持込電気器具（1KWにつき）		120

備考 使用料は、8時30分から12時まで、12時30分から17時まで、17時30分から22時までそれぞれ1回とし、30分を超えた場合は1回とみなす。

(2) 調理室設備等使用料

名称	単位	使用料
ガスコンロ	1台1時間	100円

(3) その他設備等使用料

名称	単位	使用料
暖房機器	1台1時間	100円
冷房機器	1台1時間	100円

備考 冷房機器の使用は、第4研修室、第5研修室、第1和修室、第2和修室又は視聴覚室に限る。

希望ホール「会場使用料金表」

大ホールの利用料金						
区分			午前	午後	夜間	全日
			午前 9時から 正午まで	午後 1時から 午後 5時まで	午後 6時から 午後 10時まで	午前 9時から 午後 10時まで
大ホール	入場料が 500 円以下の場合 (入場料を徴収しない場合を含む。)	平日	20,300 円	30,500 円	40,600 円	81,200 円
		土曜日・休日	24,400 円	36,500 円	48,700 円	97,400 円
	入場料が 500 円を超え 1,000 円以下の場合	平日	26,400 円	39,600 円	52,800 円	105,600 円
		土曜日・休日	31,700 円	47,500 円	63,300 円	126,700 円
	入場料が 1,000 円を超え 3,000 円以下の場合	平日	32,500 円	48,700 円	65,000 円	129,900 円
		土曜日・休日	39,000 円	58,500 円	78,000 円	155,900 円
	入場料が 3,000 円を超え 5,000 円以下の場合	平日	38,600 円	57,900 円	77,100 円	154,300 円
		土曜日・休日	46,300 円	69,400 円	92,600 円	185,100 円
	入場料が 5,000 円を超える場合	平日	44,700 円	67,000 円	89,300 円	178,600 円
		土曜日・休日	53,600 円	80,400 円	107,200 円	214,400 円

小ホールの利用料金						
区分			午前	午後	夜間	全日
			午前 9時から 正午まで	午後 1時から 午後 5時まで	午後 6時から 午後 10時まで	午前 9時から 午後 10時まで
小ホール	入場料が 500 円以下の場合 (入場料を徴収しない場合を含む。)	平日	4,300 円	6,500 円	8,600 円	17,200 円
		土曜日・休日	5,200 円	7,700 円	10,300 円	20,600 円
	入場料が 500 円を超え 1,000 円以下の場合	平日	6,500 円	9,700 円	12,900 円	28,800 円
		土曜日・休日	7,700 円	11,600 円	15,500 円	31,000 円
	入場料が 1,000 円を超える場合	平日	8,600 円	12,900 円	17,200 円	34,400 円
		土曜日・休日	10,300 円	15,500 円	20,600 円	41,300 円

練習室の利用料金				
区分	午前	午後	夜間	全日
	午前 9時から 正午まで	午後 1時から 午後 5時まで	午後 6時から 午後 10時まで	午前 9時から 午後 10時まで
練習室 1	3,400 円	3,400 円	3,400 円	10,200 円
練習室 2	1,500 円	1,500 円	1,500 円	4,500 円
練習室 3	1,500 円	1,500 円	1,500 円	4,500 円

会議室の利用料金				
区分	午前	午後	夜間	全日
	午前 9時から 正午まで	午後 1時から 午後 5時まで	午後 6時から 午後 10時まで	午前 9時から 午後 10時まで
特別会議室	2,600 円	2,600 円	2,600 円	7,800 円

希望ホール「大ホール設備使用料金表」

舞台設備			
	附属施設の名称	貸出単位	料 金
機構	オーケストラピット	一式	4,000 円
	音響反射板 (天反ダウンライト含む)	一式	4,000 円
	小迫り	一式	無料
所作台等	所作台 (3×12 尺 / 框含む)	1 枚	150 円
	小迫り用所作台	一式	150 円
	花道用所作台	一式	500 円
	開帳場	1 枚	150 円
	鳥屋囲い	一式	500 円
平台等	平台 (3×6 尺, 4×6 尺, 6×6 尺)	1 枚	100 円
	開き足 (H727×W1818, 1212, 909 / H515×W1818, 1212, 909)	1 台	50 円
	箱足	1 台	50 円
	鉄足 (H939×W1818 / ブレース付)	一式	50 円
	ひな壇用けこみパネル・手摺り・階段	一式	2,000 円
敷物	地がすり	1 枚	500 円
	リノリウム (0.9×18.0m 20 枚 / テープは実費)	1 枚	1,000 円
	緋毛氈	1 枚	100 円
	上敷	1 枚	50 円
幕	スクリーン	1 枚	1,000 円
	しゃ幕 (黒, 白)	1 枚	500 円
	定式幕	1 枚	1,000 円
会議/講演	演台 A	1 台	500 円
	花台	1 台	100 円
	司会者台	1 台	200 円
	国旗・市旗	1 組	100 円
	折りたたみテーブル (1800×450×H700)	1 脚	50 円
	スタッキングチェア	1 脚	50 円
	ホワイトボード (900×1800)	1 台	100 円
音楽	指揮者台	1 台	200 円
	指揮者用譜面台	1 台	100 円
	演奏者用譜面台	1 台	100 円
	譜面灯	1 個	50 円
	演奏者用椅子	1 脚	100 円
	チェロ椅子	1 脚	100 円
	コントラバス椅子	1 脚	100 円
楽器	フルコンサートピアノ A (椅子付/調律代は含みません)	1 台	8,000 円
	フルコンサートピアノ B (椅子付/調律代は含みません)	1 台	3,000 円
	ドラムセット	一式	500 円
その他	金屏風	1 双	1,000 円
	鳥の子屏風	1 双	1,000 円
	松羽目	一式	1,000 円
	長座布団	1 枚	100 円
	高座用座布団	1 枚	100 円

照明設備			
附属施設の名称		貸出単位	料 金
固定負荷	ボーダーライト	1列	700円
	サスペンションライト (基本仕込み)	1列	1,000円
	アッパーホリゾンライト	1列	600円
	ロアホリゾンライト	1列	500円
	フロントサイドライト (基本仕込み)	一式	1,000円
	シーリングライト (基本仕込み)	一式	1,000円
移動負荷	スポットライト (1.5KW/平凸, フレネル)	1台	250円
	スポットライト (1KW/平凸, フレネル)	1台	200円
	スポットライト (500W/平凸)	1台	150円
	ソースフォー (575W)	1台	150円
	RAR-64	1台	200円
	クセノンピンスポットライト (2KW)	1台	1,500円
	フットライト (600W×12灯 3回路)	1列	400円
	LHQ (100W×12灯 3回路)	1本	100円
効果機器等	エフェクトスポット (1KW)	1台	400円
	フィルムマシン	1台	200円
	スライドキャリア	1台	200円
	スパイラルマシン	1台	200円
	ディスクマシン	1台	200円
	先玉レンズ	1個	50円
	リップルマシン (波マシン)	1台	300円
	星球	一式	300円
	ミラーボール	1台	300円
	スモークマシン (送風機付)	1台	1,000円
	スタンド	1本	100円
	その他	照明機器持込料	1KW
音響設備			
附属施設の名称		貸出単位	料 金
拡声	拡声装置 (有線マイク1本附属)	一式	1,500円
	移動型ミキサ	1台	1,000円
	移動型アンプ	1台	500円
	移動型スピーカ	1組	300円
周辺機器	カセットレコーダー	1台	500円
	CDレコーダー	1台	500円
	MDレコーダー	1台	500円
	DATレコーダー	1台	500円
	DVD/ビデオレコーダー	1台	500円
映像	液晶プロジェクター	1台	1,000円
	書画カメラ	1台	1,000円
	スライド映写機	1台	1,500円
	OHP	1台	500円
効果機器	サウンドプロセッサ		500円
	グラフィックイコライザ		500円

	エフェクタ (リバーブ)		500 円	
	エフェクタ (コンプレッサ)		500 円	
マイクロホン	三点吊りマイク装置 (コンダンサー型マイク2本付)	一式	1,500 円	
	ダイナミック型マイクロホン	1本	300 円	
	コンダンサー付マイクロホン	1本	500 円	
	ワイヤレスマイクロホン	1本	1,000 円	
	タイピン型ワイヤレスマイクロホン	1本	1,000 円	
	バウンダリーマイクロホン	1台	1,000 円	
	マイクロホンスタンド	1本	100 円	
	ダイレクトボックス	1台	300 円	
	その他	映写機持込料 (35mm)	1台	2,000 円
		映写機持込料 (16mm)	1台	1,500 円
音響機材持込料		1KW	200 円	
音響調節卓持込料 (専用機使用料含む)		1KW	100 円	
テレビ放送		1回	8,000 円	
ラジオ放送		1回	5,000 円	

備考

- 1.1回の使用は、午前、午後または夜間の各時間区分以内とし、全日使用した場合の使用回数は3回とします。
- 2.許可された使用時間を超過して利用した場合は、超過時間1時間(30分未満は切り捨て、30分以上1時間未満は1時間とする。)につき、午前9時前の場合は午前9時から正午までの、正午から午後5時までの場合は午後1時から午後5時までの、午後5時以降の場合午後6時から午後10時までの使用料の額の時間割額を加算します。
- 3.ピアノの使用料に、調律料は含まれておりません。
- 4.照明および音響機器持込料の単位は、1台ごとにその表示された消費電力によるものとし、1KWに満たない端数がある場合は、これを1KWに切り上げます。

5.その他

① 大ホール使用料で利用可能な室

舞台、客席、音響調節室、映写室、超光室、大道具搬入口、ホワイエ、ロビー、客用トイレ、楽屋事務室、アーテストラウンジ、シャワー室、楽屋トイレ

② 大ホール使用料で利用可能な設備

<舞台> 道具バトン、移動式姿見、人形立て、人形立て用ウエイト、木支え木、金支え木、ガチ、木台、高所作業台、脚立、台車

<照明> 調光卓、客席一般照明、作業等としてのポーターライト

<音響> ITV 設備、インカム装置、楽屋呼出装置、ガナリ装置、ホワイエ・楽屋・運営系スピーカ、エアモニター設備、聴覚障がい者支援システム

<その他> もぎり・販売・クロークの各カウンター、簡易間仕切りパネル、パーティションスタンド、楽屋の冷蔵庫・洗濯機、その他利用可能な各室備え付けの家具

③ 楽屋使用料で利用可能な備品

スタイロ畳、加湿器、および各室に備え付けの家具

響ホール「会場使用料金表」

利用室名	昼間 (9時～17時) 1時間あたり	夜間 (17時～22時) 1時間あたり	全日 (9時～22時)	冷暖房料 1時間あたり
大ホール	3,000円	3,600円	42,000円	2,360円
大ホール(舞台のみ)	900円	1,080円	12,600円	708円
小ホール	1,170円	1,400円	16,360円	700円
主催者控室	120円	140円	1,660円	70円
楽屋1(和室)	160円	190円	2,230円	100円
楽屋2(和室)	160円	190円	2,230円	100円
楽屋3(洋室)	120円	140円	1,660円	70円
楽屋4(洋室)	380円	450円	5,290円	40円
練習室	340円	400円	4,720円	200円
町民ギャラリー	1,040円	1,240円	14,520円	—
研修室1	210円	250円	2,930円	120円
研修室2	260円	310円	3,630円	150円
研修室3	210円	250円	2,930円	120円
喫茶コーナー	190円	220円	2,620円	110円

【備考】

1. 入場料若しくはこれらに類するものを徴収する場合、又は営利、宣伝等の目的をもって使用する場合は、基本使用料に次の割合の額を加算します。
 - 入場料等の額が3,000円以下の場合・・・20%
 - 入場料等の額が3,000円を超える場合・・・50%
 - 営利、営業、宣伝を目的とする場合・・・100%

※ 入場料等に段階がある場合は、その最高額を基本とします。
2. 大ホールの舞台のみを練習又は準備で使用する場合は、基本使用料及び冷暖房料の30%とします。
3. 舞台を除いて大ホールを使用する場合は、基本使用料及び冷暖房料の70%とします。
4. 使用する時間が1時間に満たないときは、1時間に切り上げて計算します。
5. 時間外(午前9時以前又は午後10時以降)に使用する場合は、1時間につき夜間基本使用料の20%を加算します。

響ホール「設備使用料金表」

区 分	設備名称	単 位	室 名	使用料(1回分)
舞台設備	音響反射板(天井反射板ライト含む)	1式	大ホール	3,000円
	松羽目	1式	大ホール	1,000円
	スクリーン	1式	大ホール	500円
	金屏風	1双	共 通	1,000円
	所作台	1台	大ホール	150円
	平台	1台	共 通	100円
	花道(下手・仮設)	1式	大ホール	2,000円
舞台音響設備	音響拡声装置	1式	大ホール	3,000円
	三点吊りマイクロフォン	1式	大ホール	1,500円
舞台照明設備	ボーダーライト	1列 24台	大ホール	400円
	第 1. 2. 3 サスペンションライト	1台	大ホール	100円
	アッパーホリゾンライト	1列 1色	大ホール	450円
	ロアーホリゾンライト	1列 1色	大ホール	300円
	フロントサイドスポット(上手・下手)	1列 3台	大ホール	250円
	シーリングスポットライト	1列 6台	大ホール	500円
	フットライト	1列 28台	大ホール	150円
	フォロースポットライト	1台	大ホール	1,350円
	移動用スポットライト(1kw)	1台	大ホール	150円
	移動用スポットライト(500kw)	1台	大ホール	100円
	パーライト	1台	大ホール	100円
	ディスクマシン	1列	大ホール	500円
	波エフェクト	1台	大ホール	500円
	ソース 4	1台	大ホール	400円
小ホールスポットライト	1列 10台	大ホール	450円	
そ の 他	ピアノ(スタンウェイ) ※1時間	1台	大ホール	1,500円
	ピアノ(国産)A ※1時間	1台	小ホール	500円
	ピアノ(国産)B ※1時間	1台	練習室	100円
	マルチビジョン	1式	ホワイエ	1,500円
	持込機器	1kw	共 通	100円

【備 考】

1. 使用料は、4時間まで1回とし、以後1時間につき、上記の1/4の額を加算します。
(ピアノは、1時間の料金です。)
2. 使用料の総額に10円未満の端数があるときは、切り捨てます。
3. 30分を超えた場合は、1時間とします。

いわき芸術文化交流館 アリオス

事業の方針

『芸術文化が持つエネルギーを通じて、いわきの「まち」と「ひと」に元気と勇気をもたらす』ための事業を、“3本の柱”に基づいて展開。

鑑賞・創造系事業(みる・つくる)

鑑賞:市民の舞台芸術に対する関心を高めるための良質な公演の開催。「観たい、聴きたい」ニーズに応える。

創造:市民参加型の舞台作品づくり、フェスティバル等の開催。舞台の喜びをより多くの市民に体験する機会提供。

普及・アウトリーチ系事業(ひろげる・ふれあう)

普及:音楽、演劇等に関する講座・ワークショップ等の開催。学校へ、子育てママへ、福祉施設へ、中山間地域へ。

交流:プロとアマチュア、あるいは地域やジャンルを超えた交流の促進。刺激と付加価値を生み出す。

育成・支援系事業(そだてる・ささえる)

発表:市内文化団体やアマチュア等による発表機会の提供。

技術スタッフのサポートによる舞台作品のクオリティ向上をめざす。

支援:次世代の文化を担う人材を育てるための幅広い環境づくり。

子どもや青少年(音楽、演劇、ダンス、舞台技術など)へのアプローチを充実させる。

自主事業プログラム

上記の方針に基づき、自主事業を積極的に展開。

■鑑賞公演・普及公演

東京で行われている作品を単に招聘するのではなく、アーティストとのお付き合いを通じ、いわきの土地の魅力が作品づくりにも反映されるような、他では実現し得ない貴重な体験を提供する。

■ワークショップ

トップレベルのアーティストを講師に迎え、長い時間をともに過ごすことによって、単に技術を習得するだけでなく、そのアーティストの視点や方法論を一緒に体感できる機会を設ける。

■市民参加型公演

公募で集まった市民とプロのアーティストが一週間・数ヶ月に及ぶ稽古をじっくりと重ね、一つの作品を創り上げる。

■おでかけアリオス

市域が広い、施設が立地する地区から離れた場所に暮らす市民にとって「関係ない場所」にならないよう、各地域の学校、公民館、お寺、病院、福祉施設などにアーティストとともに出向く出張型の事業に力を入れる。

■マーケティングプロジェクト

芸術に興味のない市民も気軽に集まれる「居場所」となるため、子どもたちが楽しみながら社会のしくみを学ぶことができるイベントの開催や、街なかを使って人々が参加できる枠組みづくりを進めています。

■広報・パブリシティ

広報紙、シーズン・ポスター、WEB サイト・メルマガ・DM サービス、FM 番組などを通じ、施設の魅力や事業の内容、そこに集う市民の様子を幅広く伝える。

●2008年度事業例

いわきアリオス演劇塾 vol.1 舞台出演クラス/演劇体験クラス

蟬丸(山海塾) 舞踏ワークショップ

青木尚哉(Noism08) 大人のためのダンス体験学習会

じゅんじゅん マイムワークショップ

小林旭コンサート 2008

たんけんアリオス

現代演劇ポスター展

ポスター貼りワークショップ&解説付きツアー

演出家・森田雄三の

「イッセー尾形のつくり方 2008」in いわき

Noism08 Nameless Hands

渡辺亮 パーカッション・連続ワークショップ 2008

ドラマリーディングワークショップ/発表会+劇作家トーク(夏・秋)

舞台技術「初めの一歩」(講義・実習)/舞台技術スタッフ養成講座

かえっこバザール in アリオス(夏・冬・春)

ともさと衣(俳優)の声のワークショップ「声で遊ぶ！」

下村由理恵バレエワークショップ

舞台公演関連企画舞台仕込み見学会

親指こぞう 一ブケッティーノ

西山まりえ オルガン on カスケード

いわきでつくるシェイクスピア (ガイドダンスワークショップ/出演者募集)

トーク&ミニライブ

公開リハーサル

アリオス・プランツ! フェスティバル開催!

北九州芸術劇場

事業コンセプト

キーワードは、「創る」「育つ」「観る」。芸術文化が生活になくてはならないものとなり、人々が生き生きし、都市や産業に創造力が生まれる場面を創造する。

創る 2003年の開館から独自のプロデュース公演で、本格的な舞台作品を創り続けている。劇場で創りだされた質の高い舞台作品を、北九州発として他都市で積極的に上演し、「ものづくりの街」北九州をアピールするとともに、舞台芸術創造の発信拠点となることを目指す。また、作品制作を通して、舞台芸術創造を支える地元の人材を育成し、地域に新しい創造の力を還元してゆく。

育つ 劇場開設のプレ事業として、地域の演劇人に向け演劇講座や表現教育指導者の養成を目的としたワークショップなどを行った。劇場開設後もアーティストを小中学校や地域に派遣するアウトリーチ活動や、劇場サポーター組織を通じてのネットワーク作り、地元の劇団やアーティストへの支援などを通じて地域に舞台芸術を愛する人が根付く土壌を作っていきます。北九州芸術劇場は地域を育て、地域とともに育っていく劇場です。

観る 舞台芸術の先進都市や海外から、芸術性の高い作品、エンターテインメント性に富んだ作品、今が“旬”の舞台作品などを幅広く招聘している。今観たい作品を、今観たい人に届けると同時に、今まで観に来なかった人にも観る楽しみを知るための入口として、日常の暮らしに彩りを添える。

事業概要

“創る” “育つ” “観る” の3つのコンセプトに基づき、下記の事業を行う。

創造事業、学芸事業、公演事業、貸館事業、チケットクラブの管理運営・営業活動、
劇場文化サポーター組織の運営、プレイガイド・インフォメーション、アートライブラリー、市民ギャラリー

■創造事業

「創る」の部分を担当創造作品は、北九州発の作品創りを通して「ものづくりの街」北九州の誇りを再確認するとともにその存在をアピールし、舞台芸術創造の発信拠点となることを目指す。アーティストックな作品からエンターテインメントまで、第一線の才能を集結したもの、地域の演劇人を中心としたもの、市民参加によるもの、他のプロダクションと手を組んだものなど様々な試みを続ける。

北九州芸術劇場プロデュース公演、共同製作公演、リーディングセッション、市民参加企画

■学芸事業

地域の人々とつながり、ともに育っていくため、学校や地域でのアウトリーチ(教育普及)活動や、作品の創造を支える専門家を育成する講座、舞台芸術を身近に体験してもらうワークショップなどの学芸事業を行う。劇場以外の様々な場所で、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に舞台芸術に触れ、体験できる機会をつくる。

舞台芸術を基にしたプログラムによって、子どもたちが表現力や想像力、コミュニケーション能力を養い、創造性や個性を伸ばす手助けとなったり、地域の人々が自分を表現する喜びや楽しさ、難しさを体感して、自己実現や日常生活に新しい可能性を見出すきっかけになることを目指す。

●2012年度の創造事業

北九州芸術劇場プロデュース「LAND→SCAPE／海を眺望→街を展望」
北九州芸術劇場リーディングセッション vol.20 & vol.21
国内外の魅力的な戯曲を独自のリーディングとして上演する。演劇界の第一線で活躍する演出家を招き、役者はオーディションで選考された地元の役者を中心とする。作品創りの特徴は、役者は脚本を手に入れていることだけをルールにどんな演出もありえること、生演奏の音楽とのジョイントであること、本格的なスタッフワークが入ることなど。役者の稽古から本番までを約1週間に凝縮し、作り手にもお客様にも演劇のエッセンスを味わっていただく企画。
北九州芸術劇場プロデュース／市民参加企画 合唱物語「わたしの青い鳥 2012」
2004年より毎年開催しているオリジナルレパートリー作品。メーテルリンクの「青い鳥」を題材にオリジナルの曲と詞を作り、約14回のワークショップを経た市民の合唱で物語を綴る。学校でのアウトリーチも実施。
小学3～6年生のための 北九州パントマイム教室
小学3～6年生を対象としたパントマイムのワークショップ。国内外の第一線で活躍する一流のパントマイミストを講師に迎え、5日間で基礎を習得。最終日には、ご家族を観覧対象とした発表会を開催し、自分だけのオリジナルな作品を披露する。

●2012年度の学芸事業

劇場内での活動	高校生のための演劇塾、シアターデモ
劇場外での活動	コンテンポラリーダンス推進事業、日韓子ども演劇キャンプ「チャレンジ！えんげき」、アーティスト往来プログラム

北九州芸術劇場 自主事業実績一覧(1) (2010年度)

創る	【創造事業】	公演名	会場	公演日	公演数
1	北九州芸術劇場プロデュース/市民参加企画 合唱物語「わたしの青い鳥2012」	中劇場	7/11	1	
2	北九州パントマイム教室 (発表会)	創造工房	8/29	1	
3	北九州芸術劇場リーディングセッションvol.16 「かんしゃく鬼」	小劇場	9/18・19	2	
4	北九州芸術劇場リーディングセッションvol.17 合唱物語「わが家」	小劇場	11/27・28	3	
5	シアターコウゴロリーディング公演「犯人真実」	創造工房	12/18・19	2	
6	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	小劇場	2/21・27	2	
7	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	あうるすぽっと	3/4・6	3	
計(創造事業)					21

観る 【公演事業】

1	公演名	会場	公演日	公演数	
1	Opera Ensemble 「朝日新聞」	中劇場	4/10・11	2	
2	Opera & Opera Collection Vol.5 「アラン」	中劇場	6/5・6	2	
3	OFF-BROADWAY MUSICAL 「イカれた主婦-ANGRY HOUSEWIVES-」	大ホール	6/14	1	
4	「D・I・2」	小劇場	6/15	2	
5	「アイロニカル」	中劇場	7/31・8/1	3	
6	「2重目、新しい目」	中劇場	8/5	1	
7	「アド・パッシング」	大ホール	8/19	1	
8	「おぼろげな夜」	中劇場	9/5	1	
9	「ソドムとゴモラ」	小劇場	9/25・26	3	
10	「A1700」	小劇場	12/18・19	3	
11	「小劇場とイッセー」	中劇場	10/2・3	2	
12	「光と影」	大ホール	11/5・7	4	
13	「カンパニオ」	大ホール	11/13・14	3	
14	「カッパ」	中劇場	12/12	1	
15	「カッパ」	中劇場	1/8・9	3	
16	「カッパ」	中劇場	1/22・23	2	
17	「カッパ」	中劇場	2/11	1	
18	「カッパ」	中劇場	2/18・20	4	
19	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
20	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
21	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
22	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
23	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
24	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
25	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
26	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
27	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
28	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
29	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
30	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
31	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
32	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
33	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
34	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
35	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
36	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
37	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
38	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
39	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
40	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
41	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
42	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
43	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
44	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
45	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
46	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
47	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
48	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
49	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
50	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
51	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
52	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
53	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
54	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
55	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
56	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
57	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
58	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
59	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
60	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
61	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
62	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
63	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
64	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
65	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
66	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
67	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
68	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
69	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
70	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
71	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
72	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
73	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
74	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
75	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
76	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
77	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
78	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
79	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
80	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
81	「カッパ」	中劇場	3/1・4・8	3	
計(公演事業)					81

北九州芸術劇場 自主事業実績一覧(2) (2010年度)

育つ	【普及・育成事業】	公演名	会場	公演日	公演数
1	北九州芸術劇場プロデュース/市民参加企画 合唱物語「わたしの青い鳥2012」	創造工房	6/25	1	
2	北九州パントマイム教室 (発表会)	創造工房	6/25	1	
3	北九州芸術劇場リーディングセッションvol.16 「かんしゃく鬼」	創造工房	7/10	1	
4	北九州芸術劇場リーディングセッションvol.17 合唱物語「わが家」	創造工房	11/15・16	2	
5	シアターコウゴロリーディング公演「犯人真実」	創造工房	11/16	1	
6	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	4/2・4/11	2	
7	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	10/5・10/12	2	
8	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	11/11	1	
9	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	11/12	1	
10	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	7/27・8/1	2	
11	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	8/1	1	
12	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
13	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
14	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
15	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
16	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
17	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
18	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
19	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
20	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
21	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
22	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
23	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
24	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
25	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
26	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
27	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
28	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
29	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
30	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
31	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
32	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
33	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
34	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
35	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
36	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
37	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
38	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
39	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
40	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
41	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
42	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
43	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
44	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
45	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
46	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
47	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
48	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
49	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
50	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
51	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
52	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
53	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
54	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
55	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
56	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
57	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
58	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
59	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
60	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
61	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
62	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
63	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
64	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
65	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
66	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
67	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
68	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
69	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
70	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
71	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
72	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
73	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
74	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
75	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
76	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
77	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
78	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
79	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
80	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
81	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
82	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
83	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
84	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
85	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
86	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
87	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
88	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
89	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
90	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
91	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
92	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
93	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
94	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
95	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
96	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
97	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
98	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
99	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	
100	北九州芸術劇場プロデュース「BENJ」(発表公演)	創造工房	9/9・11	2	

可児市文化創造センター

「劇団文学座」「新日本フィルハーモニー交響楽団」との地域拠点契約

●2009 年度事業

■自主事業

鑑賞型事業			
大規模な芸術鑑賞機会の提供	演劇・舞踊系		10
	音楽系		6
定期的な鑑賞機会の提供	音楽鑑賞		3
	映画鑑賞他		26
創造型事業			
市民活動スタッフ育成事業	接遇		1
	事業企画		1
芸術活動支援事業	演劇活動支援		1
	アーティスト・イン・レジデンス		4
アーツスクール事業	体験型入門事業		1
	専門講座事業		5
	総合的創作事業		4
	地域関連事業		2
	芸術祭事業		4
創造集団育成事業	ワークショップリーダー育成事業		1
国際交流事業			
芸術活動支援事業	異文化交流事業		1
情報交流事業			
定期刊行物発刊事業	ニューズペーパー		1

■連携事業

教育との連携事業			
	小中学校との連携	劇団うりんこ学校公演	
	高校との連携	市民演劇支援	
民間との連携事業			
	民間各組織との連携	民間企画組織との連携	
各種まちづくり事業との連携			
	福祉との連携	エイブルアート展	

■貸館事業

情報交流系空間・情報コーナーの整備(文化芸術関連図書や DVD の充実など)

新潟市民芸術文化会館 りゅーとぴあ

■自主文化事業

- 1 鑑賞系事業(音楽/演劇/能楽)
- 2 普及系事業(音楽/演劇/能楽)
- 3 育成系事業(音楽/演劇/能楽)
- 4 新潟発創造系事業(専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信。)

■施設運営事業

- 1 市民の文化活動支援事業(貸館事業)
- 2 ホール業務
- 3 館内サービス業務 | 窓口、苦情対応、さわやか運動の実施/登録レセプションの配置/芸文会館友の会
- 4 広報業務 | りゅーとぴあマガジン、会館ホームページ、りゅーとぴあエンターテイメントカレンダー、メールマガジン、パートナーシップ

●特徴のある活動

・レジデンシャルダンスカンパニー「Noism」

2004年4月設立。世界的なダンサーであり、演出振付家の金森穰を芸術監督に迎え、新潟から新しいダンスシーンを世界へ発信。劇場が1年を通じて所属ダンサーを抱えて運営する「シーズン制のヨーロッパスタイル」はコンテンポラリーダンスのジャンルでは日本初の試み。

・新潟定期演奏会/東京交響楽団

新潟市の準フランチャイズオーケストラとして、1998年りゅーとぴあオープン以来、年6回程度の定期演奏会を開催。また、この関係性を生かしてロビーコンサートやプレトーク、小学5年生全員を招待する「わくわくキッズコンサート」などを実施。また、「わくわくキッズコンサート」のイベントとして東響団員が小学校を訪問し、特別授業をする「ようこそ先生!」も実施。

・新潟市ジュニア音楽教室

音楽を通して、子ども達の豊かな感受性、創造性、表現力を育みながら、将来の新潟市での音楽活動の担い手を育てることを目標に、青少年を対象とした3つの音楽教室を運営。現在約250人の子ども達が「オーケストラ教室」「合唱団」「邦楽教室」で活動。

・演劇スタジオ キッズ・コース APRICOT

1999年に7名の子ども達で試行作品を上演以来、現在は小学4年生から高校3年生までの約60名が在籍、年2回の公演に向けて日々稽古に励む。台詞表現、歌、ダンスなどは専門講師の指導を受けながら、またグループワークの中で力を合せて舞台作品を創る。

・オルガン(パイプオルガン)

コンサートホールに設置されているオルガンを使って様々な事業を展開。オルガン音楽の普及を目指した「オルガン・レクチャー&コンサート」、一流のオルガニストによる「オルガン・リサイタル」、構造や音色を楽しく学ぶ「オルガン・サマデー」、オルガニスト養成のための「オルガン研修講座」など。

・りゅーとぴあ市民創造ミュージカル

新潟から、質の高いオリジナルのミュージカルを作り上げる試み。新潟でオーディションを行い、丁寧に時間をかけて舞台を作り上げる。

・りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズ

和の精神・手法を生かし、シェイクスピアの豊かなイメージを、能楽堂という日本独自の「なにもない空間」で展開し、現代によみがえらせる演劇シリーズ。アソシエイト・ディレクター栗田芳宏が演出をつとめ、新潟で活躍する俳優を中心に作品を発信。国内ツアーのみならず、海外公演も行う。

長久手町文化の家

『第2次長久手町文化の家マスタープラン』(2007年)を拠りどころとして事業組み立て。

普及啓発プログラムのさらなる開発、子ども・親子向け事業の充実化が「今計画期の重点施策」

平成23年度事業概要

■舞台系事業	39事業(48ステージ)
■企画展	11事業
■ガレリアコンサート	14事業
■映像鑑賞会	13事業(上映26回)
■アウトリーチ	44事業
■アートスクール	長期講座21、短期講座20

平成23年度事業の種類別件数

普及・啓発事業	42件
鑑賞・体験事業	50件
自主創造活動事業	9件
育成事業	3件
住民企画支援事業	2件
提携事業	15件

●特徴のある活動

『アートスクール』

5名の文化の家創造スタッフを中心に、多様な領域のアート講座を展開。

『長久手市合唱団、長久手市劇団の活動』

長久手市合唱団ニューセンチュリーコーラス Nagakute

団員おおよそ30名、定期公演実施連絡機関誌等も発行

市劇団座★NAGAKUTE

岸田國士戯曲賞作家 佃典彦氏の指導のもとで活動

『文化の家フレンズの活動』

鑑賞・交流などのいわゆる友の会活動を超え、館の広報宣伝から自主事業運営までをボランティアとして支える行動的な組織。現在419人(うち60人が行動する事業スタッフ)。

- 文化の家自主事業の当日運営部
- 機関誌部
- 研修部
- フレンズ事業部

神奈川芸術劇場 KAAT

所管：神奈川県 運営(指定管理者団体)：公益財団法人神奈川県芸術文化財団

「3つのつくる」をテーマとする創造型劇場

◎モノをつくる | 芸術の創造

演劇、ミュージカル、ダンス等の舞台芸術作品を創造し、発信します。県民の財産となるようなオリジナル作品を創造し、次代に引き継ぎます。

◎人をつくる | 人材の育成

舞台技術者、アートマネジメント人材など文化芸術人材を育成します。より良い作品創りのために、劇場スタッフが施設利用者をサポートします。

◎まちをつくる | 賑わいの創出

公演事業の積極展開、創造人材の交流及び NHK 横浜放送会館を始めとした近隣施設との連携により、賑わいや新たな魅力を創出し、地域の価値を高めます。

運営の主な特徴

◎自主事業

- ・演劇、ミュージカル、ダンス等の舞台芸術作品を企画、制作、上演。また、国内外の劇場、芸術家、芸術団体と共同制作を行ない、同時代性のある作品を紹介。
- ・舞台芸術の広域拠点施設として、県内の文化芸術団体、文化施設、関係機関と連携した事業展開。
- ・公共劇場として、文化芸術人材の育成及び舞台芸術の普及事業を展開。

◎貸館事業

- ・話題性やエンターテインメント性の高い公演を行なう劇団、制作会社等に長期間劇場を貸し、優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を県民の皆さんに提供。(特定貸館事業)
- ・舞台芸術作品の創造活動を行う文化芸術団体等に劇場を貸し、劇場スタッフがサポート。(一般貸館事業)

◎神奈川県民ホール本館との一体運営

芸術劇場は、近接する神奈川県民ホール本館(以下、本館)と一体運営を行う。本館の自主事業は、大ホール(2,488 席)では、グランドオペラ、グランドバレエ等を、小ホール(433 席)では室内楽等の上演を主に実施し、芸術劇場は、演劇、ミュージカル、ダンス等の上演を、中規模ホール(最大約 1,300 席)及び大スタジオをはじめとするスタジオ群のそれぞれの施設機能を活用して実施。また、本館で上演する作品の立ち稽古などを芸術劇場のスタジオ群を活用して行うなど、両施設の機能と設備を有機的に相互活用し、効率的で効果的な運営に取り組む。

◎都市型劇場

劇場に足を運べばいつでもどこかで創造活動が行われている活気ある都市型劇場を目指す。

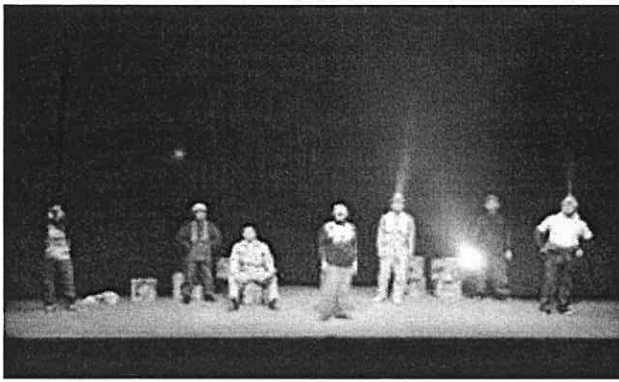
舞台関係者、鑑賞者や地域の人々との交流が盛んに行われることにより、新たな文化芸術の創造や地域の魅力と賑わいが生まれる、いわば都市機能の重要な一部を、芸術劇場は担っていく。

◎芸術監督性の採用

芸術監督：宮本亜門(演出家)

市民参加劇「体験版 芝居で遊びましょ♪」シリーズ

○2010年度「花火、舞い散る」



○2009年度「ピアノにあいたい」



○2008年度「ホテル・トロップへようこそ」



○2007年度「春日ノ原駅のこと」



体験版 芝居で遊びましょ♪ vol.5 「春日ノ原駅のこと」 平成20年3月16日

誰でもが気軽に参加できて、演劇の公演制作を通じて楽しみを感じるための事業です。

2003年度から始まりました。演劇経験の有無は関係ありません。出演者(キャスト)とスタッフの両面からの参加が可能です。

演出家を毎回変えることで、多様な表現方法に触れることができます。異なる地域、年齢、性別などを超えて、新しいコミュニケーションが始まっています。演劇公演の制作は多くの人々が集団で一つの目的に向かって進められていきます。

その中から日常的には知り合う機会の少ない人同士が仲間として連日にわたって制作が続けられます。

作品作りには毎回キャストもスタッフも公募で集まります。毎回50人を超える参加者がいて、その何割かは継続的に参加する方ですが、劇団を作る予定はありません。毎度新しい人が入ってきて、経験者も初心者も同一線上でスタートしたいと思うからです。

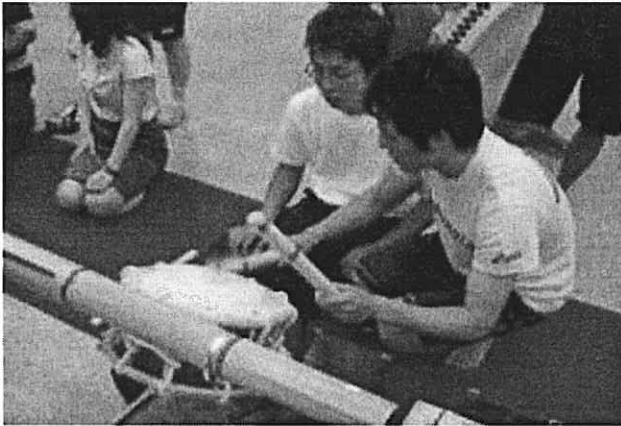
あくまでも「体験版」。

レジデンス事業

プロのアーティストが中長期的に滞在し、その滞在中に創り上げたものが舞台公演となって真っ先に地元の観客に提供されたり、地元のアマチュア向けのワークショップなどで気軽にプロと市民が交流し合える環境が日常的にあるということは素晴らしいことである。

プロの創造活動の一端を垣間見る機会というのは一般的にはほとんどない。創作過程は観客に見せるものではないからである。ただ、それでもここで「生活」をしていれば触れ合える機会は生まれる。一年に一回だけの滞在であっても、継続的に繰り返されていく中からアーティストと市民との間に不思議な一体感が生まれてくるものである。「今年もやってきたな」というアーティストと、「今年も来てるね」と迎える市民。この両者の関係がバランスよく保たれていけば、いずれは交流の機会が生まれる。人づくりの観点から見ても、継続的にこれを受け入れていくことができるのは行政の強みだろう。

○鬼太鼓座



日本を代表する和太鼓の演奏集団である鬼太鼓座が、全国・全世界ツアーの立ち上げを目的とした合宿を始めた。今年度は合宿だけとし、コンサートは開催しなかった。

サンライズホールでは和太鼓のコンサートを残波大獅子(1997)、鬼太鼓座(1998)、鼓童(2001)、縄文太鼓(2002)と開催してきた。これに加えて、2002年度の成人式に箏&尺八のコンサートで鬼太鼓座代表の松田惺山氏を招聘したことから、合宿の件が持ち上がって実現した。プロの演奏団体による合宿、滞在は地域に有形無形の影響を残すことができる。これを連続して定例化することから生まれる信頼関係が、将来にわたっての財産となる可能性がある。

2003年度

●和太鼓交流

合宿中に地元のアマチュア演奏団体との交流の場を設けた。演奏の指導という観点ではなく、プロとアマチュアの交流であるが、実際にはアマチュアからの質問に対してプロが答えるという場面もあり、充実した時間となった。

開催日：8月28日 19:00～21:00

対象者：朝日町及び近隣のアマチュア演奏者

参加者：30名(岩尾内太鼓・つくも太鼓・宝来太鼓)

2004年度(省略)

2005年度

●ワークショップ

開催日：9月7日 19:00～

提唱者：地元のアマチュア演奏者

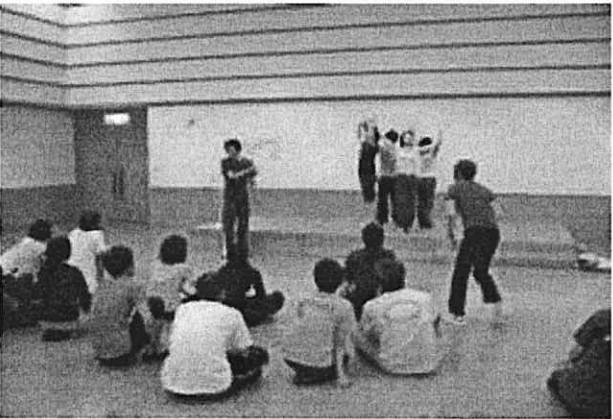
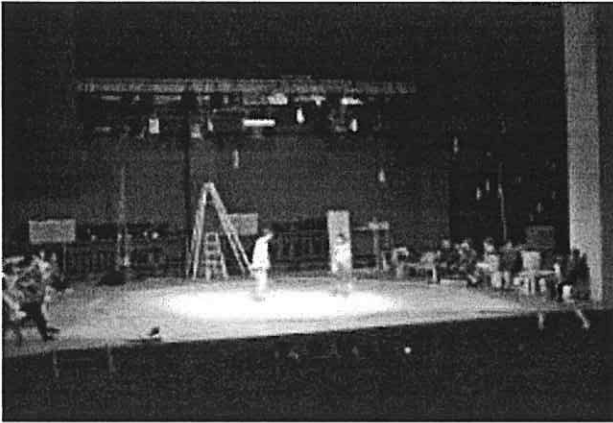
参加者：岩尾内太鼓 10名

2006年度以降

●ワークショップ

滞在中のスケジュールに合わせて小学校や高校生を対象としたワークショップを開催しています。鬼太鼓座の所有する太鼓や楽器を使っての体験型や座員の日常的な稽古と同じ内容の一部を体験するなど、参加者に合わせたプログラムが実施されています。

OKUSHIDA WORKING



2003年度

役者、演出家、として活躍している串田和美氏を中心としたプロの役者等を対象とした滞在型ワークショップ「KUSHIDA WORKING in HOKKAIDO」が2002年度から札幌市及び富良野市で3年を目処して開催されており、この2年目から朝日町も参加することになった。講師、キャスト、スタッフあわせて48名が参加した。ワークショップの参加者27名はオーディションにより決定したものであり、東京、札幌、富良野、茨城、千葉、神奈川にわたり、各地でプロの演劇人として活動している若手役者が中心となっている。

3年間のワークショップから創造される舞台を目指しており、そのためのトレーニングや、9月には「コーカサスの白墨の輪」のプレビュー公演も予定されている。

●「コーカサスの白墨の輪」のプレビュー公演

公演日：9月8日

観客数：221名

補助：財団法人北海道文化財団

●演劇演出に関するワークショップ

開催日：8月12日 19:00～21:00

講師：斉藤 歩

対象：中学教師

参加者：中学教師及びKUSHIDA WORKINGの参加者 22名

概要：中学生の芝居を演出する立場の教師に対しての実践的なワークショップ。マンツーマンでは参加者の精神的な負担が大きいため、滞在中の役者にも参加してもらい、集団の中のひとりとしてワークショップを行った。コミュニケーションワークショップから、プレヒトの手法によるタブロー作りなどへ、次から次へとプロの役者の中で体験が重ねられていく。最初は一人だけのアマチュアということで腰が引けていたが、コミュニケーションの度合いが深まるにつれて全体の中へ溶け込んでいった。短時間に集中してのワークショップだったが、芝居の制作過程において、表現して伝えるために何をすべきかという刺激的な機会となった。

○合宿滞在



ホールの近くに安価な宿泊先(朝日山村研修センター)があることで、文科系の団体による合宿の利用が続いている。そのほとんどが夏季休暇及び冬期休暇中に集中し、3日間前後の利用である。利用者は高校、大学の吹奏楽、演劇部などが中心となる。

現在は来館する学校も増え、夏期休暇以外の時期にも1泊程度で合宿を実施することも多くなっており、スポーツ合宿と併せて生涯学習施設の活用がされている。

今後は市の掲げる「文化・芸術の里づくり」構想のもと、更に多くの利用を目指していく必要がある。




●吹奏楽

開館当時から吹奏楽団の合宿利用があった。主に学生による夏季休暇中の合宿利用である。ほぼ毎年利用しているのは旭川凌雲高校吹奏楽局、旭川西高吹奏楽部、札幌東稜高校吹奏楽部、札幌大学吹奏楽部などである。この中でも旭川凌雲高校吹奏楽局、旭川西高吹奏楽部は年間に複数回の利用がある。近年はさらに利用する学校が増えているが、希望する時期がスポーツ合宿と重なっており、宿泊の確保ができずに断念することも多い。

合宿中に地元住民対象のコンサートを開催しているのが旭川凌雲高校であり、夏の恒例行事として地域に定着しており、ほぼ満員の観客を動員する実績がある。

●演劇合宿

近隣の高校の演劇部による合宿利用があったが、最近では演劇部そのものの存続が危ぶまれる学校も多く、継続的な利用に至っていない。

<p>○子ども芸術劇場</p> 	<p>平成22(2010)年度</p> <p>市内17小中学校へワークショップ(HipHop dance・Jazz dance・パントマイム・演劇・声楽)及び鑑賞公演(人形劇・ポップス)を提供します。学校によっては複数回のワークショップを実施することにより、学芸会などでの発表を目指すこともあります。</p> <p>ダンスワークショップ(HipHop/Jazz Dance) 演劇ワークショップ(演技/演出) 声楽ワークショップ(合唱) 和太鼓ワークショップ(鬼太鼓座) 舞台技術ワークショップ(教職員対象)</p>
<p>○朝日中学校祭支援事業</p> 	<p>平成21(2009)年度</p> <p>地元の朝日中学校があさひサンライズホールを活用して実施する学校祭のために、生徒対象のワークショップに加え、教職員を対象としたワークショップやプロの舞台スタッフによる指導、プロ公演の際のバックステージツアーなどを実施しました。</p> <p>市民がバンド演奏のアドバイスをしたり、大道具製作を手伝うことができました。</p>
<p>○学校行事舞台技術支援事業</p> 	<p>平成21(2009)年度</p> <p>学芸会、学校祭、運動会などの学校行事に舞台用の機器の貸し出しオペレート、オペレート指導を行いました。</p> <p>要請のあった9学校と1保育所の行事に音響機材、照明機材を貸し出し、よりクオリティの高い行事となるよう支援しました</p>
<p>○センセイノチカラVol.1「七福村の奇跡」</p> 	<p>平成20(2008)年度</p> <p>札幌で活躍しているHipHopインストラクターの戯曲、振り付け、演出により7名の教職員による舞台公演を製作しました。当初はダンスのワークショップを行い、希望者により作品製作が進められました。</p> <p>担当している教科に関わらずダンスを稽古し、公演後も稽古を継続するなど、先生のスキルアップにつながるきっかけとなりました。</p> <p>公演ではプロのダンサーなども一緒に出演し、観客席を埋めた多くの教え子や保護者からも温かい拍手が送られました。</p>

○学校へのアウトリーチ事業

平成17(2005)年度



地元小中学校へ音楽(声楽)、演劇、ダンスのワークショップを授業へアウトリーチしました。これは従前から積極的に実施してきたことで、児童生徒だけではなく、教職員も対象としたワークショップを並行実施することで、学芸会や学校祭に活用されて一般に披露されました。

観る・聴く

○ 楠原竜也ダンス公演



地域創造公共ホール現代ダンス活性化支援事業

ダンサーでもあり俳優でもある楠原竜也が、ミュージシャンでもあり俳優でもあるKONTAの【おと】で、えずこホールのあちこちを使って全身全霊で踊ります。ステキな【あそび】が溢れる1度限りのパフォーマンス

○ 熱帯JAZZ楽団



宝くじ文化公演

実力派ミュージシャン勢揃い。日本を代表するラテンジャズ・ビッグバンド”熱帯ジャズ楽団”がやってくる。懐かしのラテン名曲もちろん、ジャズ・ファンキー・オリジナルまでビッキリ熱いステージ

※宝くじ助成による特別料金

○AZ9・ジュニアアクターズ 結成20周年記念公演



THE RIVER STORY～水鏡の中の不思議な世界～

出演/AZ9・ジュニアアクターズ
20回目を迎える記念公演。
仙南地域に住む小学校4年生から6年生で結成されている児童劇団”AZ9ジュニア・アクターズ”。
子どもたちのエネルギーは今年も健在。。未来を担う子供たちのフレッシュな歌、ダンス、そして演技。感動にあふれたステージ

○えずこミュージック♪アカデミーコンサート16th～みんながつながる音楽コンサート～



- (1)5つの音楽！！：違うジャンルの音楽を一つのコンサートで聴けちゃう。しかもチケットもお手ごろ価格。
- (2)ロビーコンサート！！：開演前、ロビーなどで行われるコンサート。劇場がさまざまな音楽と楽器による音色で溢れます。
- (3)グランドフィナーレ！！：出演の全団体がステージに登場。観客の皆さんと一緒に音楽で繋がる瞬間を演出。
- (4)くつろぎ空間＝バーカウンター！！：この日だけのオリジナルのお菓子や珈琲屋さんのおいしいコーヒーを召上がりながら、音楽で満たされる秋の午後を贅沢に。
- (5)参加する！！：最後はやっぱりあなたが参加すること。聴くだけでなく、舞台上に立って主体的に音楽を楽しむ。それは団に入ってみたいのお楽しみ!?

○えずこシアター 第15回演劇公演



えずこシアター15回目の記念公演！
今回は”歌”も歌います。あなたの知っているあの人
だけど、あなたの知らないことがいっぱいの人には
あります。人はさまざまな事情を抱えて生きて
いるのです。あんなこともこんなことも満載の舞台を
演出 倉品淳子とえずこシアターのメンバーが作り上げ
ます。

○Ezuko music festa“ゆめさくら”



ポピュラー、沖縄、ロック、ブラジル。全国からとびきり新鮮な
音楽を携え、ステキなミュージシャンたちがやって来る！2日
間にわたる3ステージ+2ライブ、春を満喫できる香り高い音
楽を満載。満開の桜の季節に贈るスペシャルな音楽のお祭り
です。

○青島広志 世界わくわく音楽紀行 with ブルー・アイランド楽団



出演/青島広志(お話、指揮、ピアノほか)、ブルー・アイ
ランド楽団(室内オーケストラ)
TV番組「題名のない音楽会」などでもおなじみの青島広志
が世界中のクラシック音楽をナビゲートします。聴き馴れた
名曲に隠された秘話。クラシックを100倍楽しめる、“抱腹絶
倒のトーク”とブルー・アイランド楽団による“珠玉の演奏”で
皆様をクラシック音楽の世界旅行へご案内いたします

○世界を歩く若き三味線プレーヤー津軽三味線浅野祥『祥case vol.6』



～一つ一つのひびきのこだわりを！～
津軽三味線の最高峰であるA級3連覇を史上最年少で達
成。
16歳で殿堂入りした若き天才プレーヤー浅野祥が装いも新
たに新企画でえずこホールに登場！その超絶テクと圧倒的
な演奏を濃密なライブ空間

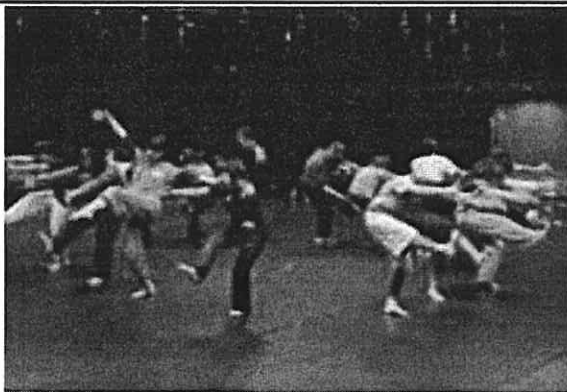
参加するワークショップ

○えずこと遊ぶ日5



えずこと遊ぶ日～えずこホール全館かえっこ～は、かえっこバザール(おもちゃの交換プログラム=かえっこ)を使って、劇場がまるごと遊びの空間に変わるスペシャルな1日です。普段足を運ぶことの少ない子供たちを対象に地域の団体や人たちが楽しく交流し、毎年1000人超える家族連れで賑わいます。かえっこは1～3のポイント制で、おもちゃと交換ができます。たくさんある山のようなおもちゃたち。実は、すべて子供たちが使わなくなったもの。中には掘り出し物だったたくさんあります。そんなおもちゃを使った手作りの交換・交流のプログラムです。

○各種ワークショップ



ワークショップは参加・体験型の講座のこと。見たり聴いたりするだけでなく、体を動かしたり、考えたり、表現したり、主体的に参加・体験することでさまざまな可能性が広がります。えずこホールでは、音楽、演劇、ダンスのほか、音響・照明からまちづくりまで、誰もが参加できる幅広いプログラムとして随時開催しています。

参加する一住民創造グループ

○えずこ♪弦楽団



1997年、幼児から小学生を対象とした仙南圏域の子どもたちによるヴァイオリン合奏団体としてスタートしたえずこヴァイオリン♪アカデミー。メンバー全員が初心者から始め、合奏形式で音楽を学ぶという他に類を見ない楽団として活動してきました。演奏用分数楽器(1/10～3/4サイズ)はえずこホールが用意し、安心して弦楽に取り組める環境で練習に取り組んできました。

主な活動は、年に一度の合同定期演奏会「えずこミュージック♪アカデミーコンサート」、メンバーとその家族が主体となって運営する自主コンサート「サマーコンサート」、ホールを飛び出して地域の人々と触れ合う出前コンサート「えずこキャラバン」(アウトリーチ事業)、さまざまなワークショップなどです。

○「えずこヴァイオリン♪アカデミー」「えずこチェロ♪アカデミー」



えずこ♪弦楽団の立ち上げとともに、基礎コースとして新しく「えずこヴァイオリン♪アカデミー」「えずこチェロ♪アカデミー」を設け、初心者からの育成を行っています。

ヴァイオリンは加門恵先生、チェロは小野友里恵先生から月に3回のレッスンを受け、めきめき上達しています。これから機会がある毎に弦楽団との共演で舞台経験を積んでいく予定です。

○えずこギター♪アンサンブル



仙南圏域にクラシックギターによる合奏の輪を地域住民レベルで広げていこうと全国的に優秀な成績を収める大河原商業高等学校ギター部の卒業生を中心にえずこギターアンサンブルを結成(1997年3月)。

以後えずこホールで開催されるえずこミュージック・アカデミーコンサートに出演。町のイベント、老人福祉施設などでの出前コンサート(えずこキャラバン事業)への参加など活動の場を広げています。

○えずこウィンド♪アンサンブル



平成9年4月、えずこホールが育む4つの「えずこミュージックアカデミー」の団体のひとつとして発足。「仙南地域に吹奏楽団を」という掛け声のもと、住民たちが募り結成した吹奏楽団です。

これまで、えずこホールが育む5つの音楽団体による合同コンサート「えずこミュージック♪アカデミーコンサート」を中心に、自主公演の「えずこウィンド♪アンサンブルチャリティーコンサート」ほか、地域のお祭りや学校、福祉施設でのミニコンサートなど精力的に活動しています。

○えずこ♪男声合唱団



1997年1月、「男だけの合唱団をつくろう」との呼びかけに賛同した有志により結成。講師に、仙南合唱文化の草分けとして44年にわたり「つくしの会」を育て、県の内外で活躍している細淵誠一氏が担当し活動を行っています。
 団員は約15人(2012年3月現在)。年齢、職業もさまざま、住まいも仙台市から白石市と広範囲。当然、経験者あり初心者ありそれぞれのレベルは違うが「歌うことが好き」ということでは、みんなが一緒です。その思いがあれば誰でも参加でき新しい仲間になれる。
 そして、歌うことの楽しさ喜びを仲間と分かち合い、新しい自分に出会えるのです。

○e☆GG(えずこ☆ゴスペル)



2004年2月、えずこプロ企画・制作「つのだ☆ひろのパラダイスカフェ」の関連企画でゴスペルワークショップが行われました。このときワークショップに集まった人たちは約70名。
 現在では、e☆GG (ezuko☆Galaxy of Groove)と名称を改め、えずこミュージックアカデミーコンサートをはじめ、様々な場所で演奏を披露しています。

○えずこボランティア・スタッフ



1996年10月、えずこホールオープニングイベントで、募集したボランティアスタッフの参加者を中心に活動を開始。
 活動内容は、主にもぎり、パンフレット配布、会場案内、カフェコーナーなど表方(お客さまへの各種対応)のサービス。主婦層を中心に社会人から学生まで34名(2012年3月現在)が参加しています。
 ホール主催事業の運営に必要な不可欠な役割を担った活動を行うと同時に、互いに学びあえる研修会や研修旅行、企画事業の実施ほか活動にポイント制の導入など独自の工夫が現在の活動を生き生きしたものにしています。

○えずこキッズクラブ(託児ボランティア)

劇場の公演は、残念ながら未就学児が入場できないものが多いため、小さい子供を預かってくれる方がいなければ、その家族は公演を見に来ることができません。そんな人たちへ手を差し延べたのがえずこホール託児ボランティア(住民によるボランティア)でした。
 学生、主婦、会社員、保育士など子供が好きな(好きでたまらない)人の集まりだ。
 彼女ら(彼はまだいないんで…。男性諸氏の参加もお待ちしていますヨ。)は、自らの集まりをえずこキッズクラブと名づけ活動しています。
 また、えずこホール主催公演時の託児のほか、各研修や交流行事を行っている。

参加する－えずこキャラバン(アウトリーチ)

○アウトリーチ

えずこキャラバンはアウトリーチ事業です。

「アウトリーチ」とは手を伸ばすこと、手を伸ばした距離、奉仕、援助、出前、出張サービスという意味。文化施設においては、日ごろ文化芸術に触れる機会の少ない地域、住民のみなさんに対して、施設が働きかける活動・事業のことをいいます。

アウトリーチは、ホールが地域に出向き、アートが好きな人にも、あまり興味もっていない人にも、楽しく・面白くアートに出会い、体験していただくためのさまざまな活動のことです。

えずこホールではプロのアーティストによるキャラバン事業と、えずこホールで活動する住民創造グループによる、2つのキャラバン事業を展開しています。

・アーティストキャラバン

一流アーティストが目の前で素晴らしい音楽を奏でくれるという体験。鍛えぬかれた技や感性を見せてくれる瞬間。本物との出会いにはさまざまな驚き、発見があり、感動があります。その感動は、アーティストと交流したり共演することで、更にその深みを増していきます。

感受性の鋭い子どもたちにとって、その体験は生涯忘れない思い出となり、人生の年輪を重ねた方々には、癒しと潤いのひとときとして人生の1ページに彩を加えることになることでしょう。

えずこホールでは、音楽、演劇、ダンス、その他のプログラムを、地域の学校、福祉施設、病院、地域のイベントに合わせて制作しお届けします

・シビックキャラバン



えずこホールを拠点に活動する住民創造グループ6団体（劇団1、音楽団体5、*参加するページ参照）もアウトリーチ活動を展開しています。日ごろの活動で磨き上げた演技、演奏を、交流プログラムを交えて皆さんのもりに届けます。学校、各種施設、地域のイベント、その他実情に合わせて調整しお伺いします。地域に根差して活動を続ける住民の皆さんの演奏、演技、プロとはまた別の熱い感動を味わっていただけるものと思います。

えずこキャラバンを通して、人と人が出会い、体験し、感じることで地域に感動の輪が広がっていきます



参加するーその他

○AZ9ジュニア・アクターズ

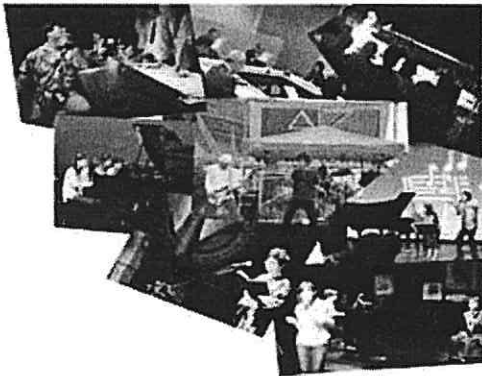


これまで演劇とは無縁の子供たちを対象に高度な総合芸術である演劇への参加を通して、圏域の将来の文化活動を担う人材を育成することを目的として、平成5年に結成された児童劇団です。

メンバーは毎年小学4年生を対象に募集し、オーディションによって選考され、3年間、舞台芸術を学びながら、地域の歴史や文化に関わるワークショップを体験しながら、本格的な児童劇団に育成するものです。

毎年2月には1年間の集大成といえるえずこホールでの舞台公演を実施し、多くの観客に舞台の魅力を伝えています。

○えずこ圏民企画劇場

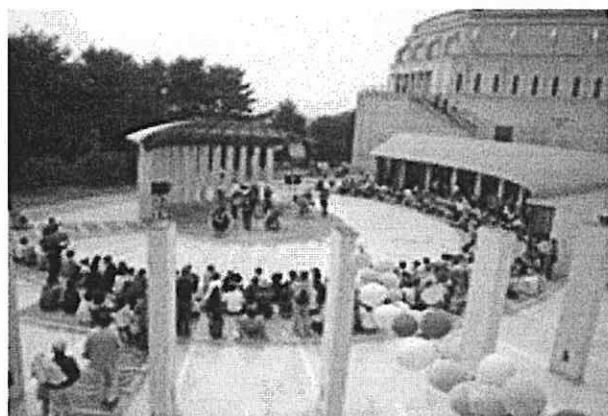


～あなたが夢に描いている企画、現実にしませんか？～
自作の演劇を今、企画している。ちょっとユニークなコンサートを企画している。郷土芸能をいつもとは変わった趣向で見せる企画を実現したい。

そんなすてきなアイデアをお持ちの仙南圏民のみなさん、あなたの企画をえずこホール（えずこ芸術のまち創造実行委員会）が支援します。

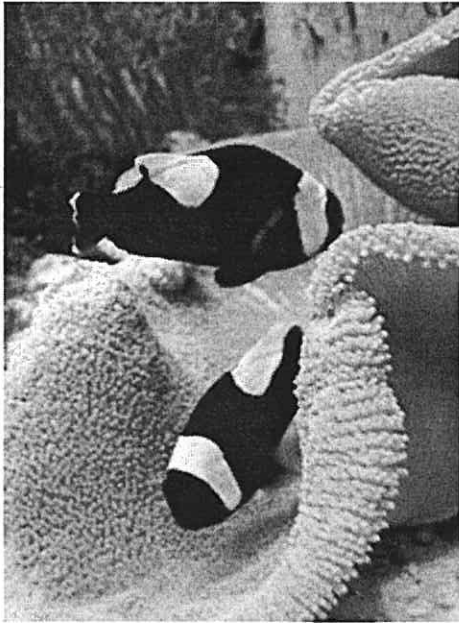
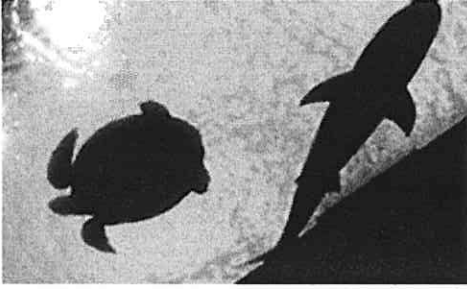
あなたの企画が、新鮮で、多くの人の共感を呼ぶものなら、それは、「圏民企画劇場」として、えずこホールがバック・アップ！

○七ヶ浜国際村インターナショナルデイズ2009「メキシコ」



2009年に日本と友好400周年を迎えた「メキシコ」をテーマ国に開催しました。鮮やかな伝統衣装をまとった「メキシコ・エン・ラ・ピエール」と「サボテンブラザース」によるホール公演は華やかなダンスと軽快な演奏で観客を魅了しました。また、メキシコ在住の神様の存在の日本人である白田良子氏によるタペストリーと裂き布の展示会や、リカルド・エスピノサの写真展などが人気を集めたほか、お菓子を詰めて割るメキシコ伝統のピニャータ割り、スパイシーな料理屋台コーナー、楽しいワークショップなどメキシコの極彩色に染まり賑やかな展開をみせた3日間でした。

○七ヶ浜アート・ウォリアーズ2009海つよく 垂見健吾写真展「美ら海水族館のさかなたち」



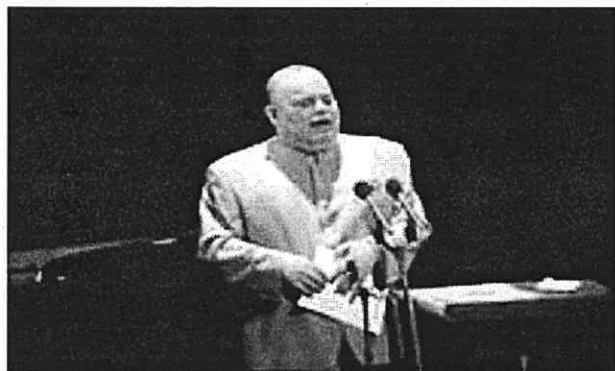
おきなわんミュージックのコーディネーターも努めた垂見氏の写真展は、沖縄にある世界最大の水族館「美ら海水族館」のさかなたちをとらえたもの。垂見流に撮影されたさかなたちはとても表情豊かで、見ている側も自然と笑顔になるようなものばかりでした。

○七ヶ浜アート・ウォリアーズ2009海つよく「ナ・レイ・オ・ハワイ2009」



毎年好評の「ナ・レイ・オ・ハワイ」。今回も「カフラ・オ・ハワイ」主宰の窪川京子氏をはじめ、国内外コンペティションで入賞した実力派が勢ぞろいしました。ハワイアンバンド「ナーレイ」の心にしみる演奏をバックに繰りひろげられたフラダンスの数々、ハワイアンムードあふれる特別な夜となりました。

○七ヶ浜アート・ウォリアーズ2009海つよく「おきなわんミュージック最終回」



諸外国の文化を積極的に吸収し、独自の文化を育てた沖縄。その独特の沖縄の文化を歌で届ける「おきなわんミュージック」の最終回を飾ったのは、新垣勉、琉球ストリングカルテット、キース・ナカガネク、と個性派揃い。新たな沖縄音楽の可能性を感じさせる、最終回にふさわしいステージとなりました。

○七ヶ浜アート・ウォリアーズ2009海つよく「宮城うたの日in七ヶ浜」



音楽にあふれ、「うた」に感謝し、「うた」を楽しむ日。その「うたの日コンサート」が七ヶ浜で産声をあげました。七ヶ浜が一番輝く夏に開催。ゲストもミュージシャンもみんながうたを楽しんだ、わたしたちの「音楽祭」。記念すべき第1回目となった今回は、風味堂や三宅伸治バンド、さらに仙台出身のカラーボトルなど実力派ミュージシャンが勢ぞろいしました。なかなか観ることのできないミュージシャン同士のセッションを多数盛り込み、ドラマティックな展開となりました。また、ステージには町内の中学校先生、国際村パフォーマンスカンパニーグループのNaNa5931、Groove7がミュージシャンと共演する場面もあり、まさに七ヶ浜でしか創りあげることのできない展開となりました。

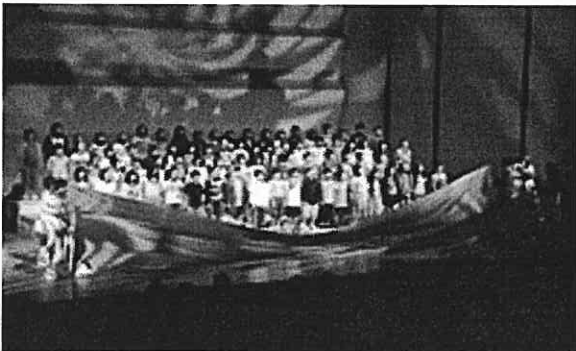
さらに、野外では東北で活躍するバンドのライブ、DJブース、地元の食材をふんだんに使った近藤商店やカフェ・ラルナの屋台料理もあわせて、地元七ヶ浜ならではの音楽にあふれた一日となりました。

○七ヶ浜アート・ウォリアーズ2008海つよく「仲道郁代ベートーヴェンピアノ・ソナタ全曲公演第2弾」



国際村レジデンスアーティスト・仲道氏の今夏のリサイタルはベートーヴェン全曲公演の第2弾。演奏曲はワルトシュタイン 希望と夢想 でした。さらに力強く、また温かみを増した仲道氏の演奏には会場全体が酔いしれました。来年は8月22日(日曜日)に決定。乞うご期待を。

○まちに息づくクラシックⅥ



おなじみ、大森智子氏(ソプラノ)、神谷未穂氏(ヴァイオリン)、中川賢一氏(ピアノ)によるステージ。今年は3年かけて創りあげたオペラ「あわび伝説」を、アーティストと小学6年生の有志がプログラムの一部で演じました。あわび伝説は七ヶ浜の花淵浜地区に残る伝説「大根明神の伝説」をもとに創ったもの。ロマンあふれる壮大な伝説がクラシック音楽と七ヶ浜の小学生の掛け橋にして再現され感動のステージとなりました。

○七ヶ浜国際村パフォーマンスカンパニーNaNa5931第7回公演「NaNa'09」



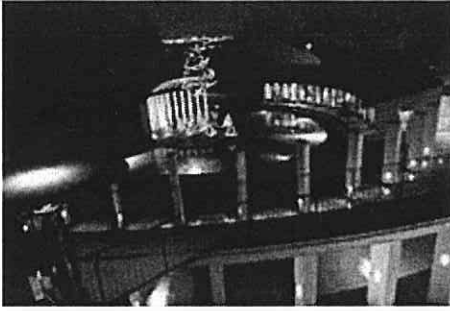
7年前に上演したオリジナルミュージカル「NaNa」の2009年度バージョン。七ヶ浜の伝説や歴史を織り込んだ本作品は、7年前に「あの役を演りたい」という願いが叶った団員、また7年前と同じ役を演じた団員もいて、魅力あふれるステージとなりました。毎年熟成をみせる表現で評価が高まるNaNa5931。来年度の公演もお楽しみに。

○七ヶ浜国際村パフォーマンスカンパニー公演「Groove Factory4」



結成9年目となるGroove7の公演。アフリカの太鼓・ジャンベを中心にマリンバやカシシ、和太鼓なども取り入れバラエティ豊かに展開。プログラムの中には昨年より更にハイレベルな楽曲や、外国の曲、ボディパーカッションなどもあり、彼ら独特のグルーブとリズムが観客をひきつけてやまないステージとなりました。

○ウインター・スパイラル・サウンドデイズ2009



今冬のイルミネーションのテーマは「小さな森」。光庭、中庭、野外ステージがそれぞれ個性あふれる「森」で幻想的な世界を創りだしました。

○あそぶさございん 七ヶ浜deお正月



毎年恒例のお正月イベント。昔懐かしいお正月の遊びの数々を体験できるとあって、たくさんのお客様で賑わいました。アメ細工職人によるアメ細工のコーナーは、動物などの好きな形を注文するとその場で作ってくれるパフォーマンスが大好評。さらに恒例の七ヶ浜吉田浜地区に伝わる獅子舞の披露も非常に盛り上がりました。ほかにも餅つきコーナー、今年初お目見えの焼き芋コーナー、同じく初お目見えのけん玉パフォーマンス、駄菓子屋、お茶席など子どもから大人まで昔ながらのお正月の一日を楽しみました。